

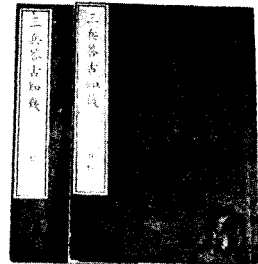
京古本や住来

大砲を引き寄せた 古アルバム

吉岡新一

私が京都で古本との最初の出会いは戦後間もないころ伏見の貸本屋で見つけた「支那」と金の背文字の分厚い童話集であった。短編物によく出来たのが多く、近くの小学校の歯科校医をしていたので学童に歯科の衛生講話の前座に話してみると好評であった。今年で校医になってから三十四年になるがいまでも中国の童話は評判が良い。本職の歯科医師より有名になつてしまった私の古銃の蒐集は昭和三十一年、二年ごろから本格的にやりだしたが古銃の文献の方は五年ばかり遅れて始めたのは恩師である故有馬成甫文学博士の御忠告が動機であった。

銃砲とは長いつきあいであった。二十二年十一月にソ連から復員後十年ぐらひは六年間遠ざかつていた歯科医術に専念したが、父親ゆづりの骨董武器好きの血はボチボチ頭をもたげ、最初は満州で腰に吊っていた日本刀に眼を向け、集め始めたが、いまはなき四条西洞院東入南側の「文福」という古道具屋に「先生、刀はお止めやす、偽物ばかりで誰でもやつてます。其点鉄砲は偽物がなうて京都でもまだ誰もやつてはらしません。私も兵隊に行つてましたから鉄砲は好きです。それに、刀は高いけど鉄砲やったら安いですよ。丹波篠山の方で見つけてありますから買つて来ませ」とす、められてから刀から鉄砲に方向転換をしたのである。



高野長英訳 「三兵答古知幾」
安政3年刊

が、米国の映画俳優でケニー・ダンカンというピストルの早射ちが来日して実演をしたり、当時テレビが普及し始めて米国製西部劇が茶の間で人気を博して「ガン・ブーム」が到来した。ピストルから始まったガン・ブームはやがて古い鉄砲にまで範囲が拡がり、プロもアマチュアも古銃に注目し始めた頃に古銃の蒐集を始めたからいふと思うと時期としては良かったのである。そのころ元海軍少将で日本古銃砲研究の大先輩の有馬成甫先生を知り、東京まで出ていって御指導を頂いた。先生は有名な古銃と文献蒐集家でもあり、生前膨大な文献類は防衛大学校図書館に寄贈され、「成甫文庫」として有名である。その先生から「吉岡新一、古

季刊
第21号
京都古書研究会
発行
干604 京都市中京区上同内2
京都府東山区角田協合組30
京都府古書籍部130円
振替 京都22130円
年間購読料 250円
送料 15
頒価 1

銃のコレクションもい、が、品物には限度があり、これから次第に少くなる一方だが、文献の研究は無限だよ、これから文献も力を入れてやり給え」と忠告され、当時地味な古銃蒐集や研究より、どうして古銃砲の現物を集めるのが面白く、本気に文献をやりたいのは大分後になってしまった。そのころからやつておれば相当集められたのといふ思うと残念であるが、それでも写真にある高野長英が幕吏の追及を受けながら辛苦して譚訳した「三兵答古知幾」というオランダ兵書と初心者用に綺麗な挿絵一杯の「西洋兵学訓蒙」を思文閣から手に入れることができた。また尚学堂から明治二十四年版、有栖川宮熾仁親王敍文の「戊辰戦記図巻」は表紙が痛んでいた面帖仕立てであったものを書巻にして愛蔵している。これは大阪で開催された鉄砲展に出品したので大阪NHKが知り、全巻参考資料として撮影して帰つた。古書ではないが、私が古銃との奇縁を証明する一冊の古い写真帖を紹介する。それは



西洋兵学訓蒙 安政四年刊
津藩中西書一郎著

—— 暑中お見舞申し上げます 京都古書研究会加盟店 ——

- 赤尾文堂 中京区西門外下馬場 電話二一五八八
- 石川古本店 左京区西門外の柳24の店 電話二一五〇二九
- 井上書店 左京区西門外門前1-10-1 電話七八一三三三三
- キクオ書店 中京区河原町通上丸 電話三三二一七三三
- 其田中堂 中京区寺町通三東三 電話三三二九七
- 沢田書店 上京区馬場町通上丸 電話四五一〇五五
- 三密堂書店 下京区寺町通御所前 電話三三二一七三三
- シルヴァン書房 中京区西門外門前1-10-1 電話七八一三三三三
- 出町と衣笠善書堂 衣笠店 電話四六一七三
- 大岡書堂 中京区寺町通上丸 電話二二〇六八
- 竹岡書店 左京区河原町通上丸 電話七六一二五
- 谷方書店 下京区寺町通御所前 電話七六一二五
- 東山書房 北區山下河原町 電話九一三〇七
- 外山書房 左京区北白川久保町4の7 電話七〇一六六
- 萩屋書店 上京区西門外上丸 電話二二〇六八
- 福田屋書店 左京区西門外門前56 電話三三三三三
- 藤井文政堂 下京区寺町通御所前 電話七六一二五
- 藤原北御所書房 上京区今川通御所前 電話二二〇六八
- 文苑書店 中京区西門外門前1-10-1 電話七八一三三三三
- 文藻堂 中京区西門外門前1-10-1 電話七八一三三三三
- 八木書店古書部 中京区西門外門前1-10-1 電話七八一三三三三
- 山崎書店 伏見区東山崎町 電話二二〇六八
- 臨川書店大阪店 大府市北白川町 電話二二〇六八



成辰戦記書巻 明治24年刊

昭和十八年四月十日―五月末日での靖国神社遊就館の「弓矢鉄砲展覧会写真帖」という古い写真帖である。まだ小さかった四人の子供と妻をつれて寺町四条上る「スター食堂」に夕食に行った時、当時、福田屋書店の分店がスター食堂の北の方にあった。それまで時々、のぞいていた本屋である。その本屋が食事中、馬鹿に気になるのである。食べるのが早い私は家族を残しておいて行って見ると、一時間前に手に入れたという「弓矢鉄砲展覧会写真帖」がある物である。昔から靖国神社の武器博物館である遊就館は有名であった。店には当時若くてハンサムな番頭さんがいて「先生、早耳ですね、このアルバム一時間ほど前に店に入ったばかりですよ。どなたかに聞かれましたか？」と不思議そうに言う。誰にも聞いたわけではないが、この店が気になって駈けつけてみたら、やはり、このアルバムがあったんで、実は驚いたり、不思議



遊就館 弓矢鉄砲展覧会写真帖

に思っている。インスピレーションですな」
戦後、靖国神社も貧乏になり、遊就館の予算もなま、に、建物の半分を富国生命に借して、名前も「遺品館」に改め、今日まで細々と経営して来たが、戦時中は堂々たる日本唯一の武器博物館であった。昭和十八年という私は満州の陸軍部隊の少尉で中隊長代理と下士官候補者の教官をしていた二十四才の血気盛りであった。このアルバムに収録されている多くの貴重な弓矢や古銃砲は戦後、不心得な遊就館の係官によって民間に流されたが、奇縁なことにはその中の一点、讃州の久米栄左衛門作の「七書」と凸象銃のある重量九十七キロの名品が現在、私の手許に愛蔵している。東京の骨董屋がわざ／＼東名高速道路を車で走って持ってきたのである。これもアルバムが久米栄左衛門の大砲を引き寄せたように思えるのである。このアルバムにあった古銃砲の写真類は昭和四十年河出書房新社から出した「古銃」に多く使用することが出来た。

靖国神社遊就館は、戦後遺品館として太平洋戦争で散華した日本将兵の遺品を陳列していて、私も上京の時は必ず参拝して、私とさほど年のちがわぬ戦没将兵の、遺書を読んでは涙を拭いたものである。初めは奥の方に銃砲武器類が陳列してあったが、遺品の方が増えて来て、いまでは古いものとしては五、六点の大砲が居候のように並べられて、古銃愛好家を淋しがらせている。
遊就館の外側の向って左側に日清戦争の鹵獲品のドイツ製クルップ砲が一門陳列されている。この大砲が私が世話をして大阪堺の国立病院(昔の陸軍病院)に二門戦後好運にも生き残って保管されていたが、国立病院を増築することになって邪魔なために、古鉄のスクラップに売却するというニュースを友人の阪井政市氏から聞いた私は「先だめで明治前の昔の大砲らしいですよ。見に行きませんか」と知らせを受けて、スワツ！と大砲好きのことで、とるものもとりあえず、フツ飛んで行って見ると前記のクルップ砲で、何十トンもあるバカデッサン後装式近代砲である。阪井さんに重さを計算してもらい、古鉄の値段に換算してもらっても僅かな金額である。とにかく大きくて個人の家には置ける代物でない。というて日清戦争の記念品として日本兵が血を流した戦利品である。何とかして保存

したい。となると靖国神社しかないわけである。早速と神社の高橋一栄という係官に連絡すると、「神社の予算がないので、買い取る金もないし、運賃も出ない。タダで神社まで運んで頂けたら頂戴したい」という。虫の良い話であるが、ない袖は振れない。何か妙案はないかと頭をひねって考えついたのは、海陸自衛隊に御出馬願うことであつた。早速と友人の安斉実日本ライフル射協合理事長の令兄がその筋の偉い人とかで、交渉した結果、「二門あるのでしたら、自衛隊の土浦にある武器学校に一門寄贈願えるのでしたら承諾する」という。こちらとしては願ったり叶ったりで、早速と陸上自衛隊が大坂港まで運搬し、海上自衛隊に引き継いで東京港まで運び、後、陸上自衛隊が、それぞれ、土浦の武器学校と、靖国神社に運んで日清戦争の貴重なドイツ製クルップ砲がスクラップにされるのをのがれたのである。遊就館に入ったというので東上して安置されているクルップ砲を見るとバカに小さく見えるので、これぐらいだったら無理をして家の庭に入ったのと同じく考えてみると、クルップ砲より小さくて僅か二六五キロの十九世紀フランス艦砲でも、家に据える場所としては玄関しかなかく、鉄砲展の度に力自慢の運送屋の五人がからぬと動かせぬ危介な代物であ

つた。
十八年前、大阪城内にある旧大阪師団司令部が戦後大阪市立博物館になったところで「鉄砲五百年展」を開催したが、今年も三月から大阪築城四百年記念のトップ行事として同じく大阪城内天守閣で私のコレクション「日本の鉄砲」を開催した。
古銃砲文献として鉄砲記、蒙古襲来絵詞、神器譜、紀効新書、懲恐録、雑兵物語、大河内秀元陣中日記、稲富流鉄砲秘伝書、鈴録、氣砲記、海上砲術全書、三兵答古知幾等三十余点を出品して多くの人々の観覧に供することができたのも京都の古書籍商の皆さんの御陰である。戦災にあわなかった京都はいまでも沢山の古文献が出たが、まだ／＼これからも発見されるに違いないと思われる。幸い去年六月寺町丸太町上るに開設した京都市歴史資料館は最新設備を誇る古書の収蔵保管の場所であり、われ／＼の先祖が今日まで伝えてくれた貴重な文献の在り方を教えてくれるものである。

古銃研究家
著書
「古銃」河出書房新社
「満州抑留記」
筑摩書房事業出版

京都古書研究会

新会員紹介

●シルヴァン書房●

京都市下京区仏光寺通東洞院角

TEL三四一—八七九三

弊店は五十一年春に美術洋書専門店として開店致しました。その名も森の妖精、小動物のイメージを想い、皆様に可愛がって頂けることじんまりとした書店をと考え、シルヴァン書房と銘名致しました。当初は新刊八割、古書二割の取扱いでしたが、古書組合に加入して組合員の皆様と接して居りますうちに古本の面白さが段々と身について参りまして、八年を経た現在、その割合が反転しております。京都にはさすがに歴史が古く、又学徒の街でもあり、昔から良質の古本が多く有る処で種々の掘出し古本が見



岸 本 征 夫

られると先輩より伺っていましたが、なる程、小生の専門とする美術洋書に於いても驚くような面白い本を時折入手する事が出来ます。顧客の御要望で、欧米へ探求の旅をする事がありますが、その旅行で探せなかつた本が、たまたま組

合の交換市で見つかった事もあり

ます。特に京都の染織関係の老舗の方々は、その伝統を重んじられると同時にその時代の流行を反映した新鮮な感覚をとり入れる為に古く明治より洋書を輸入利用されてこられました。この様な良い環境の中で洋書を商するありがたさを感じます。京都古書研究会に

参入させていただきましたのを機に先輩諸氏の御忠言のもとにより一層の努力を致しますのでよろしく御願い申し上げます。

● 其中堂 ●

京都市中京区寺町通三条北

TEL二二二—二九七一

其中堂(キチュウドウ)と読みます。キッチュドウと読むお客さんもあれば、ソチュウドウ、果てはソッチュウドウと読まれることもあります。たしかに祖父は雪隠で倒れたのでありますけれど。

一番多い誤読は、ゴチュウドウです。うちは仏書屋ですから、お経と同じ鼻音で読むものと、お客さんに思われてしまっているのです。しかし、うちの屋号は、老子二十一章「孔徳の容」を出典としているので、漢音となり、キチュウドウと読みます。

その第三聯に、こうあります。

惚兮恍兮、其中有象。

「惚たり恍たり、其の中に象(かたち)あり」

一道は、あるのやらないのやら、とらえがたきものの中に、姿をみせるのだ。一という意味だそうです。



三 浦 了 三

ところで、この句をもじって、「売ったり買ったり、其の中に商(あきない)有り」と洒落て読んで、それでもって名付けた、という話を幼いころ聞いた覚えがあります。この話の真偽は明らかではありませんが、こういうことはいえそうに思います。

真理、思想、信仰など、とらえがたきものの「象」としての本を、「商」うのが、其中堂である、と。精進あるのみです。

京都古書研究会にお二人の方が加入されました。

シルヴァン書房 岸本征夫氏は美術関係の洋書を専門とされる京都にはなかつた異色の本屋さんです。本誌の販売目録にも今回から掲載され、より一層楽しい目録に

なりました。

其中堂、三浦了三氏は、今春、京都大学法学部卒業の新進気鋭の若者です。これまでは兄、三浦佳一氏が当会員でありましたが、東京と京都の二重生活では会員とし

て十分な仕事が出来ない為の交代であります。

「京古本や往来」を御愛読、御支援を頂いております皆様方、よろしくお願ひ申し上げます。

私の蔵書

明治期に翻譯された言語学書

浅 香 武 和

言語学を専攻し、まがりなりにも語学教師となり数年前からは東京と関西を往復するようになったおかげで、古本屋あるきも楽しいものとなった。明治初期、東京帝国大学に英國のチェムバレン氏が招へいされ日本の学界に欧米の言語学を紹介し、言語学の啓蒙と普及に貢献した。明治も中頃をすぎると帝大出身者によって相ついで翻譯がなされた。これらを列挙すれば次の書である。

- 「上・下、金沢庄三郎、後藤朝太郎共訳、明治三十九年、四十年、博文館。スウィート『新言語学』金田一京助訳、明治四十五年、子女社。このうちセースとパウルの書を除いて、貴重な私の蔵書である。今なお言語研究に多くの暗示を与えている。
- 平凡社『世界名著事典』昭和三十五年ではグルメステル(堀井令以知紹介)、マックス・ミュラー(徳永康元紹介)、ホイットニー(柴田武紹介)の三冊があげられている。ホイットニーについては、「ことばのおひたし」藤岡勝全訳が東京プリント社によって刊行されている。またスウィートの『新言語学』の翻譯のいきさつには石川啄木との友情美談がかくされている。さらにパウル原著、八杉貞利訳、明治三十二年、イエスベルセン『言語進歩論抄』新村出訳、明治三十四年、早大出版部。マックス・ミュラー『言語学』

顛想 (一)

—徒然草を読むとはどういふことか—

雙岡 散史

最近、私が興味をひかれて読んだものに「徒然草を読む」という書物がある。著者は高名の国文学者である。同書の「あとがき」に「専門家の多産な研究も、いまでは出尽した感があり『徒然草』の評価も、いわば頭打ちの状態になっているように見える。こうした場合から脱出するためには、各自が率直にそれぞれの見解を打ち出して、討論のきっかけを作るほかはないだろう」とあった。私も至極、同感である。その私も、今から廿四、五年も昔のことになるが、柄にもなく「徒然草の成立に関する研究」なる手作りの自家版本を出したことがある。「研究過程の捨て石」にでもなればと思つてのことであつた。何分、少数数の発刊のため大きな反響は、初めから、期待してのことではなかつた。

然し、それでも「反響」がなかつたわけではない。それは賛否両論に分れていたが、その分れ方が、極端なのには一驚したほどである。ご賛同をいただいた方は「兼好の伝記考証を根柢としたもので、その考証は精密で創見に満ち、兼好伝の研究としてきわめて注目され

はそのまま問題として、残されたままになつていると云えそうだ。先の書で「いわば頭打ちの状態」と評されているのは、私の場合にも、適切な意味をふくんでいよう。

徒然草の研究者として、私は、学界には、あまり縁のない一介の無名人に過ぎない。そういう私が、まがりなりにも、徒然草について、ものを書くようなことになつてしまったのは、思えばこれも一つの出会いであり、一つの奇縁と云つてよいようなものを感じる。因縁の糸は何時何処で、どう結ばれることになるのか、摩訶不思議な感慨もなきにしもあらずなのだ。然し、それはともかくとして、自ら論戦に加つた者には、その後の研究に責任を伴わないわけではあるまい。学問上の論争は、政党間の「泥試合」とはわけがちがう。

問題提起した以上、その後、これが解決への努力は、相互の責任感をともしよう研究者の良心の問題なのだ。

先の学者も「あらたな論のきっかけ」について、論争しておられる。たゞ、私の如き、自らの非力もさることながら、その論争は、余りにも長く中絶の形となり、「不毛」とも評されて、致し方のない仕儀となつた。やはり私の懈怠と見られても、しかたがない。今更、弁解がましいことは云いたくもないが、この間私は私なりに、自らの問題について、研究は継続して

いる。今、その一応の成果を得たので、再び、それを以て世に問いたい。やはり、成立の問題がテーマの中心となるであろうが、結論を先に云えば、それは先に拙著が結論として指摘したものと同じだ。

徒然草の成立はどう考えても建武延元の間にある。今次は、それが、より明確な形で、更に限定を加え得るのではないかと考えて得るに至つたわけだ。此の点、私は学界の動向を決定した観を呈する「橘学説」↓「二部説」↓「三部説」の主流に棹す偉い先生方のご見解とは真向から対峙せざるを得ない。再論における問題点も多岐多端にあらわれ、亡羊の嘆なきにしもあらずなのだ。今の私は「岐路」に泣いたという楊子の気持も、多少、わかるような気がする。

ところで、説をなすに先立つて、徒然草そのもの、中に、作者兼好の「論争」というものについての見解を質してみることにしよう。私には、そのことがあながち、徒事であるとは思われない。文段を引用する。

人にまさらん事を思はば、ただ学問して、その智を人にまさらんと思ふべし。道を学ぶとならば、善にはこらず、ともがらに争ふべからずといふ事を知るべきゆゑなり。大いなる職をも辞し、利をも捨つるは、ただ学問の力なり。(第百三十段)

兼好は「ともがらに争ふべからず」と云っている。しかし、それは何も論争そのものを否定しているわけではなからう。ただ、私など、これを読むと、兼好の筆尖にこもる彼の心人間関係の困難さやキビシさが、描破されているのを感じせしめられる。又、徒然草にはこういう文段もある。

太衝の太の字、点打つ、打たずといふ事、陰陽のともがら、相論のことありけり。もりちか入道申し侍りしは、「吉平が自筆の占文の裏に書かれたる御記、近衛の関白殿にあり。点打たるを書きたり」と申しき。(第百六十三段)。

これはまさに、「ともがら」による一種の「学問的論争」と解してよからう。例によつて、兼好の行文は簡潔そのものである。徒然草は、特に所謂「有職故実」についての文段に、その傾向が、強くあらわれているのは、第一段の「ありたき事」の中、「まことしき」をキビシク規制して「また有職に公事の方、人の鏡ならんこいみじかるべけれ」と記されてあるのと、どのように内容の呼応関係が示唆されているのであろうか、私には問題なきを得ない。

論争は陰陽寮で行われたと想像するのであるが、その模様については、何ら記されていない。ただ「点打つ、打たず」の両派にわかれ、博引旁証、事例や文証が飛び

かい、活況を呈したろうことは想像にかたくない。然し、兼好は誰が何を、どのように主張したかなど、こゝでは一切おかないしなのだ。彼には「まことしからぬ」蛙鳴蟬噪など、それを一々記録する価値は認めない。そのような断定の語気をすら感じ得ないこともない。こういう文段に対する、現代の読者の心理的反応というものはどうなのであろうか。私には、些か、それが気になる。兼好の生きた中世と、現代に生きる吾々とは、その間に異質次元の隔絶性も、発生していることは確かであろう。然も、こういう、故実を記した文段には、現代人の「時差呆け」現象が生じ易いことも認められるべきか。ともかく、わずか一字の、それも「点打つ打たず」の問題など、およそ、微視的な、余りにも微視的な問題として、興味も関心も薄らぎ、むしろ、何かアツケナサを感じ、大ていは、読み流してしまうのが、大方の徒然草の読み方であるまいか。

しかし、徒然草の謎を解く鍵は、案外、こんな文段の中に秘められているのかも知れないのだ。それにしても、学問の神様は、途方もなく大きなものにも、現われ給うが、又、時として、このような微視的なものにも宿り給うことがあるから厄介なのだ。これを「枝葉末節」のこととして、こだわらぬような研究者なら、その凝視力は

たかゞ知れている。節六のような眼によつて、徒然草は何度繰り返して読まれても、それは徒然草を読んだことにはならぬのではないか。甚だ失礼な云い草で恐縮の至りなのだが、私は彼らに対して、資朝が、西園寺内大臣殿におくつたという、あの「あさましく老いさらぼひて、毛はげたる「むく犬」を連想したりする。「西大寺静然上人」が「恍惚の人」であつたかどうかは知らぬが、少くとも、資朝の眼には、それに近いものと映じたのではなからうか。老耄は、まづ、視力にあらわれる。視力を喪失した眼に、「洞察力」があろうはずはない。「凝視」によつて、ものの細部に宿り給ふ神の姿が見えてこそ、それは洞察の名に値しよう。節六のような眼では徒然草は読めない。これは辛辣な話というよりも、現実的には深刻な問題を投げかけている。

漢字というものは妙な文字である。いや、「妙な文字」というより「靈妙」な力をもつた文字なのかともあり得る。例えば、「大学者」の「大」に一点を加えて、「犬学者」とすればどうか。無知な世間が、如何に、その人を「大学者」と礼讃していても、それは、案外、世間が「ホンモノ」と「セモノ」を識別する眼識をもたないからだったということになりかねない。犬

か「大」かこ、にも、人間の真摯は問われている。そして、それを指摘する眼識の有無が、或る学者の人生の明暗を画するピリオドともなる。けつまづき、ころぶのは人生の常だが、ころんで、打ち所が悪ければ命取りになりかねない。もし、そのことに気づけば、第六十三段は「アツケナイ」などと云つて、等閑視するわけにはいかなくなる。こういう文段が示唆する所をうっかり、軽視したり、まして、無視したりすればとんでもないことがおこりかねない。逆転にさらされているのは、何も「総理の座」のみではない。昨日の大学者が、今日は大学者の汚名に転落せしめられる。犬も歩けば棒にあたる」ではない。「ころばぬ先の杖」の方が、より肝要なのだ。似たような話は、第百三十六段にもある。これは論争ではない。論争にもならぬ一幕物の逆転劇なのだ。云わば、術字が生んだ自業自得と見てもよからうか。本文を引用すれば、長くなるから省略させていた。ぐが、それにしても、間髪を入れず、咬んで吐き出すように云い放つた有房の一言。「才のほど、既にあらはれたり。今はさばかりにて候へ。ゆかしきところなし」にあらわれた毒針の如き辛辣さは、資朝の「むく犬」に對比して、又格別の趣きがあると云えるのではないか。

兼好はこうも書いている「よろづの道の人、たとひ不堪なりといへども、堪能の非家の人になぶ時必ずまざる事は、撓みなく慎みて、軽がろしくせぬと、ひとへに自由なるとのひとしからぬなり」と。

徒然草に「道念」を強調するのは結構だが、その道念が白墨の粉にまみれたようなものであつてはなるまい。兼好は何も「教材用」を念頭しながら、徒然草の筆を執つたわけではない。

いつかテレビを見ていたら、ある詩人が「兼好はキツイですなあ」と一言漏らしたのが印象的であつた。私は直感的に、この人は徒然草が読める人だなと、同感した。

これもいつかラジオで、「方丈記」の連続講座のようなものを聞いた時のことである。講師は膨大な徒然草の注釈書を書き上げた人だつた。彼はやはり、その道の権威者の一人なのだろう。彼はそこで、「草庵を築く」などと云つていた。私はオヤオヤと思つたことを思い出す。草庵は「結末」ものであつて「築く」ものではない。この程度のことは学生でも知っている。その学者も知らないはずはない。恐らく不測の間、ついで口をすべらせてしまったのであろう。

しかし、この一言、失言は失言である。何のため「方丈記」に長広舌を振つたのか、これでは「百日の説法、尻一つ」ということにもなりかねない。国語教師を養成する衝に當る学者が「ことばを殺す」

ようなことを口にしてはいるのだ。私は苦笑しく思った。

町の竹庵先生も困り者だが、大学教授の「築庵先生」も厄介である。しかもその「築庵先生」族が多くなればなるほど、「国語」の教育界や、古典文学」の研究界は、腐蝕の度を増す事態にさらされることになる。

「頓想」は、これらの事どもから「論争のきっかけ」を重点的にとりあげ、徒然草の中に、「生きてゐることばの真実とは何か」を具体的に究明して行きたく思っている。

私は何も「ことば尻」をとらえて、ものを云っているのではない。まして「毛を吹いて、疵を求め」ている者では、さらさない。

(筆者紹介)
雙岡散史。本名、中新敬。徒然草のフリー研究者。

主著
「徒然草の成立に関する研究」昭和卅四年八月卅一日。自家版。絶版。

「雙岡隨想」。方向社刊。絶版。

その他、「金沢文庫研究」「釈」等に小論数篇。

『頓想』は、四回連載の予定です。本論文に、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。編集部より著者に転送いたします。

(編集部)

百科辞書『博物筌』覚え書

— 京街道枚方宿古書漫步 —

安藤 武彦

枚方の初夏の日差しは少しく強い。私は去る五月十四日の昼下がり、駅前近くの道標を宗左の辻から左へ、岡本町の通りを真直ぐに枚方公園へとぶらり散策を始めた。それはかねがね中島三佳さんの編著『宿場町枚方とくらわんか』(昭五七九)に見えぬ京街道を一度、この足で確かめておきたいと思っていたからだ。途中、菊人形の味噌屋さんや常夜灯、す、けた櫺子窓の家並が続き、かつての旅籠屋の町並を夢想することが出来た。——そう言えば『好色一代男』の主人公世之介も、二十一歳の折に交野・牧方・葛葉と諷うたいをしながら勘当の旅をしている。又、元禄年間における枚方の俳諧は、津田村や田ノ口を中心に前句付がかなり盛んで、大坂の宗因門、耕月庵中村一札がその宗匠格であつたらしい(『市史』第九巻に収録)。

ところで、あれやこれやと近世文学の散歩を楽しみながら私は三矢町を過ぎようとしていたとき、ふと片山珍古堂なる一骨董屋さんの店頭で、一冊の大部な古辞書が眼にとまったのだ。それは明和七

年に出た山崎蘭齋の『博物筌』という百科事典、たゞし安永二年の再版本である。むろん類本は少なく、関西では皆無に近い。参考までに、板本『博物筌』の諸本について、岩波書店刊『国書総目録』をもとに左に列記してみる。

- 明和七年板(国会、松江の二本)
- 安永二年板(静嘉、日大熊谷・豊橋の四本)
- 文化十四年板(米沢興讓の一本)
- 文政十一年板(東大・松宇の二本)
- 天保七年板(十一本)
- 刊行不明(二本)

という現状であり、なかんずく文政板まではそれぞれ伝本の数が少ないようである。店頭ガラスケースにそと飾つてある該書は、非売品、らしかった。

私はこの衆庶向きの、きわめてユニークな実用的辞書を、早速、手に取つて一見してみた。厚厚な横本、表紙はかなり痛み黒ずんではいるが、左肩には『博物筌』と記した四角単辺の原題簽が磨損ながら残っている。序文の箇所は半

丁破損、辞書の部分は完全に汚れは少なく刊記有り、たゞし裏表紙は剝落している。私は中興俳諧の註釈資料としても座右の書なりと直感、なんとしてもゆずっていただきたかつた。無理を言つた。ご主人は私の一途な執心ぶりに快く兜を脱がれた。

(書誌) 架蔵。装幀、横本一冊。寸法、縦八・五釐、横一八・八釐。表紙、改装後補。栗皮色表紙に印刷し模様空押し。袋綴。題簽、前述。内題「博物筌」。板心「序」凡例(一「十五」)「イ(一ス)一(一三五百五十一)」。丁数、序文一丁、凡例五丁、辞書三五二丁、刊記一丁、計三五八丁。

序文「博物筌序」と記し、三行目以下、表の丁破損。裏の丁末尾に、「明和五年戊子五月ノ蘭齋山崎右門題」とある。

刊記、巻末
「明和七庚寅年発行
安永二癸巳年十二月改正
京都二条通
村上勤兵衛
大坂高麗橋老丁目
藤屋弥兵衛
同 心斎橋南四丁目
吉文字屋市兵衛」

書林村上勤兵衛は老舗・村上平楽寺で、宗政五十緒氏の「近世京都の本屋」(4)に要領よく略述されているが、勤兵衛は辞書出版にも関係していたらしい。藤屋弥兵衛は星文堂・浅野氏、寛文から安政ま

で主に易占書を板行。板元の吉文字屋市兵衛は定栄堂鳥飼氏寛永の始めから明治に至るまで及ぶ。『月令博物筌』など実用書を多く出している(『近世書林板行総覧』参)。更に近刊予告として、

- 一 博物筌 二編 近刻
- 一 月令博物筌 近刻
- 一 唐人萬首絶句選 全一冊
- 一 唐詩絶句解 全三冊
新井白蛾撰
- 一 大日本道中行程細見記
明和六年改正全一冊出来」と記す。

蔵書印、なし。たゞしご主人の話によれば、本書は枚方公園近くの西本願寺系の寺院の土蔵に眠っていたとか。とすれば浄念寺あるいは養願寺等が想定出来る。旧蔵者の書入れによって文政七年ごろまで重宝していたようである。架蔵本となった本書は新たに表裏共に表紙を後補、帙も拵えたのだ。

〔内容〕「凡例」として十二箇条にわたつて列記。その冒頭に、一此書ハ上九天ノ高キヨリ下千尋ノ底ヲ究メ泰山ノ大ナルヨリ秋毫ノ末ニ至ルマデ悉ク理ヲトキ

疑ハシキヲ解シ国字ヲ以テ類ヲ分チ博物ノ助ス尤モ雅俗ニ拘ラズヒロク集メテ人間中要務ナルモノヲ採撰ス
と編纂するに当たつての基本的姿勢を述べ、以下は、
一城下ノ下ニ記ス所ノ次第。国ノ

名。江戸ヨリノ里数(西暦大坂ヨリハ江戸ヨリ大坂ヲテノ行程)。御知行高。百ノ千里ヲ引テ見ルベシ。當御城主ノ御名。江戸御屋舖。京御屋舖。大坂御屋舖。右ノ次第二記ス
一スベテ年数ヲシルスモノハ明和五年マデナリ……
一紋ノ下ニ諸候ノ姓名ヲ記スハ行旅中紋ヲ見テ某ノ諸候トシルヘキ為ナリ
等々、あくまでも利用する側にたつての実用的・ガイドブック的性格の辞書たらしめんとしているの

である。具体例を挙ぐ。
高槻一セツツ。百卅二リ。三万六千石。永井飛騨守。永井右京太夫大江直勝ノ末孫。スキヤバシノ内。京タコヤクシ西トウインリ三リ。福寿山慈照寺 本尊十一面クハハンラン
次いで、「部門註」に乾坤・神仏・人物・官位・芸能——、因みに芸能の註は、

芸能 文一章ハ道一芸ナリ 故ニ上詩賦和ノ哥ノルイヨリ下淨一瑠璃ニ至ルマデ芸一能ニアツカルコトスベテコノ部ニノス
と述べ、試みに「俳諧」は「芸能」の部門に収録せられてゐる。

〔芸能〕俳諧ノ古今ニ俳諧体ノ哥アリ。是ニ准ジ。連哥ニ似セテ。詞俗ナルモノヲ俳諧ノ連哥ト称ス。文様。天文ノ比ヨリ始マル。松永貞徳。細川女旨ノ哥道ヲ伝

と述べ、試みに「俳諧」は「芸能」の部門に収録せられてゐる。

探求書コーナー

このコーナー利用者は定期購読者に限ります。

〒123 東京都足立区谷在家

○セーヌ『言語学』明31年

上田万年、金沢庄三郎共訳

○ストロング『言語史綱要』

パウル原著、八杉貞利訳

○『名著綱要』早大出版部

○『通俗言語学』明30年頃

〒673-02 神戸市西区平野町印刷

○『遊』工作舎刊

72年10月号、73年1月号、6

月号、10月号、75年4月号、

76年10月号、77年5月号、12

月号、78年5月号、80年10

号から81年7月号迄、

〒607 京都市山科区北花山大林町

九三一二七 加藤真吾

○NHKラジオテキスト統基礎

英語78年11月号、81年2月号

〒606 京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町

○『岡本綺堂読物選集』青蛙房

新潟県北蒲原郡中条町

〒959-29 乙二二二 小川義昭

○『画像』日本の美術⑤至文堂

○『密教文化』87号、マンダラ

研究史1昭44 高野山大学刊

その他、密教図像に関する書籍

特に影印本についてご存知の方、

ご教示お願いします。

〒607 京都市山科区日ノ岡鴨土町

四三 湯端 晃

○桂宮本叢書のうち第十三巻、

三条西実隆 再昌草三(養徳

社)

○宮殿調度図解 (六合館)

○禁秘抄講義 (六合館)

〒571 大阪府門真市末広町一五

原田泰年

○『生れ日の人間学』

○『禁秘抄講義』

○『時世粧』という古い雑誌を

の頃、京都の四条あたりの老

舗の息子達の野心満々、行動

力ある連中が店々のPR雑誌

みたいなシャレたものを作っ

ておりました。その所在又は、

参加していた店々の名も全々

わかりませんので何かご存知

であればお知らせ下さい。

定期購読者の方で探求書掲載希望

の方は、編集部までお知らせ下さい。

尚、紙面の関係上、探求書多

数の方の場合、一部割愛するか残

りを次号廻しとさせていただきます

場合もございますのでご了承下さい。

★探求書掲載申し込み先★

〒604京都市中京区東洞院六角上る

京都府古書籍商業協同組合内

京都古書研究会

『京古本や往来』編集部

お知らせ

当研究会発足当時より、同志として行動を共にしてきました文苑堂書店(東野喜久雄氏)は、病氣療養の為、本誌二十一号をもつて京都古書研究会を退会されました。心身共に充分に、休養、療養され、再び復活される様、当研究会々員一同お祈りいたします。

第七回「古本まつり」概要決定!

毎年文化の日を中心に行っています古本まつりの概要が決定します。

○十一月二日、六日迄 五日間を予定しています。

○マンネリを打ち破り今回は、百万遍知恩寺境内に、古本村が誕生しようです。又、お目当の古本屋がどこにあるか一目でわかる百万遍古本村マップも考えています。

○古本セリ売、入札セリ売は毎年どおり。さて今回はどんな大穴のあるセリ市になるでしょう。

○なにはともあれ十一月二日、六日百万遍知恩寺へお越し下さい。

「不用の本をお供養に」

○ご不用になった本をご寄贈いただけませんか? 本堂にて法要後オークションを行い、その純益金は、公共図書館、小・中学校図書館の児童図書購入費として寄贈させていただきます。

ていただきます。皆様の暖かいお心をお寄せいただけます様お願い申し上げます。

なお、量が多い場合あらかじめ古書研究会加盟店へお報せ下さいれば集荷に伺う場合もございます。

愛書家の皆様と我々が丸となり古本まつりを成功させましょう。

出版案内

京都府 史蹟名勝 調査報告 二十二巻

天然記念物 竹藪引

京都府編 臨川書店 刊

全巻セット定価一九〇、〇〇〇円

本書は大正六年、京都府が文化財の保護を目的として、府内に散在する重要な遺蹟・遺物の実地踏査と資料の蒐集を京都大学の関係機関に委嘱、同時に史蹟調査会が設立され、のち大正八年より昭和三十六年まで、逐次刊行された全三十二巻の調査報告で、今回初めて復刻再刊されたものである。

本書により山城盆地から丹後半島に至る主要な遺跡はことごとく網羅され、現在に於てもその成果と学術的価値は極めて高い。

都道府県教育史シリーズ(全47巻)

京都府の教育史 第一回配本

衣笠安喜編著 思文閣出版

B6判170頁/定価一、七〇〇円

古代、中世、近世、近代を通して京都の独特の歴史・文化の中で教育の果たした役割・意義、その特色を地域愛をこめて記述。

インフォメーション

(即売会のご案内)

○近鉄百貨店(七階催物会場)

7月21日(木)~27日(水)

編集後記

○富山市の高木様より本誌編集のあり方や、古本屋の進むべき道など有意義な御忠告をいただきました。ありがとうございます。御忠告の一つ、かかれた文化人をさがし育てる事は我々も同感です。今後共、その様にならばと思っていますのでおつき合いの程よろしくお願致します。

編集スタッフ

竹山・井上・藤原・畠山・久保田

古書研究会よりのお願い

あなたのお手元に御用済の書籍がございませんか。

もし、すでに御用済の書籍がありましたら古書研究会加盟店に御相談下さい。

あなたの御用済の書籍を必要とされている方がおられます。

あらゆる専門分野の店が加盟してあります京都古書研究会を御利用下さいませ。様、お願い申し上げます。

次号予定

「京古本や往来」第二十二号

は十月十五日発行予定です。

〒600 京都市下京区仏光寺通東洞院角

シルヴァン書房

電話(〇七五)三四一七八七九三
振替 京都 一七一七九三八

- 1 (独)K・コルヴィッツ素描集 O・NAGEL 一九六〇 三九,〇〇〇
- 2 (英)緑化造園 R・スデル WARDLOCK 一九六〇 二六,〇〇〇
- 3 (英)スポーツ挿絵本手引 J・H・スレーター 一九五〇 五五,〇〇〇
- 4 (米)米国の文学雑誌E・スタイガー 一九五三 一八,〇〇〇
- 5 (澳)奥国の音楽蔵書票 H・ノイマイヤー(獨) 一九五〇 一七,〇〇〇
- 6 (米)蔵書狂物語 G・フラウベルト(獨) 一九六〇 一五,〇〇〇
- 7 (独)現代性文化風俗史 C・モレック ARETZ 一九六〇 二七,五〇〇
- 8 (独)愛撫と罰の風俗史 KULTURFORSCHUNG 一九六〇 三六,〇〇〇
- 9 (英)著者達の中の五十年 書物と出版社 J・C・デルビー CARLTON 一九六〇 二九,〇〇〇
- 10 (英)クリスマスブックの書誌学的選定照合 W・クリンフェルター S・ANTHOONSEN P 一九五〇 二七,〇〇〇
- 11 (独)DES INTIMEN 風俗史 KULTURFORSCHUNG 一九六〇 三三,〇〇〇
- 12 (英)有名な娼婦 F・オーブリ PRIVATEL 一九六〇 一五,〇〇〇
- 13 (英)ゴッホの手紙 複製版二冊(獨) SCOLLAR P. PRESSES 一九五七 二〇,〇〇〇
- 14 (英)パリーニ F・ホルシグ GRANAADA 一九六〇 九,〇〇〇
- 15 (仏)シエナ数字由論C・クマー HACHETT 一九六〇 二〇,〇〇〇
- 16 (伊)イタリアのステンドグラス マルチニ一九五六 二五,〇〇〇
- 17 (仏)セーヴル陶器 M・ブルネ ODL 一九六〇 二〇,〇〇〇
- 18 (英)デルフト陶器 H・Pフレスト RIZZORI 一九六〇 三三,〇〇〇
- 19 (独)ガラス芸術五百年 クレッシ ABC 一九六〇 二〇,〇〇〇
- 20 (仏)スイスの泉 P・プファル BONDVENT 一九五七 九,五〇〇

- 21 (仏)壁紙の世界 F・テイナク BERGER 一九六一 一八,〇〇〇
- 22 (英)ロンドン一九〇〇 セルヴィス GRANAADA 一九五九 九,〇〇〇
- 23 (伊)家具史 G・ヴィヤネロ 一九五七 一四,〇〇〇
- 24 (独)鍛金工芸 O・シユミラー WASMUTH 一九六〇 二一,〇〇〇
- 25 (仏)庭園史 E・マンジン 一九六〇 四四,〇〇〇
- 26 (英)造園世紀年鑑 E・T・クック C・L・L 一九五〇 二五,五〇〇
- 27 (英)十八世紀の仏装飾と家具 L・テイルケ 一九六〇 一五,五〇〇
- 28 (英)初期本と写本 C・F・プューレ P・M・L 一九五三 一五,五〇〇
- 29 (英)19世紀ヨーロッパ家具価格手引 ACC 一九六一 一九,〇〇〇
- 30 (独)性の魔法風俗史 ワデマール SCHMIZ 一九五〇 一九,〇〇〇
- 31 (仏)マン・レイ「写真」原版 P・SERRES 一九六〇 一〇,〇〇〇
- 32 (仏)東洋の性的芸術 ローソン A & W 一九六〇 一〇,〇〇〇
- 33 (仏)カウ・ヌーバ F・ローフェンスタール 一九五七 一八,〇〇〇
- 34 (仏)竹と人形 G・ゲインズボロー写真集 一九六一 八,〇〇〇
- 35 (仏)追想 D・ハミルトン写真集 一九五七 七,〇〇〇
- 36 (仏)白人女性 H・ニュートン写真集 一九六〇 八,〇〇〇
- 37 (仏)ピリテイス D・ハミルトン(独)性的蔵書票 クロンハウゼン CALLA 一九六〇 七,〇〇〇
- 38 (英)性芸術大全 クロンハウゼン BELL 一九五〇 一五,〇〇〇
- 39 (英)結婚の本 H・クール DESCH 一九五〇 一五,〇〇〇
- 40 (仏)神々の愛 ルネッサンス性画 一九五〇 二九,〇〇〇
- 41 (英)巨匠達の性芸術 B・スミス DUCA 一九五〇 一五,〇〇〇
- 42 (独)ドイツの蔵書票 R・プランガルト H・S 一九五三 二二,〇〇〇
- 43 (英)イランの性芸術R・スリュー(元)NAGEL 一九五七 二〇,〇〇〇
- 44 (英)チェカン・メキシコ性芸術(元)NAGEL 一九五〇 二〇,〇〇〇
- 45 (英)エロスカロス・ギリシヤ(元)NAGEL 一九五三 二〇,〇〇〇

- 47 (英)ローマアモール・伊国(元)NAGEL 一九六一 二〇,〇〇〇
- 48 (英)カマ・カラ・インド元版 NAGEL 一九六一 一五,〇〇〇
- 49 (仏)雲雨・中国性画ブドレイ O・D・L 一九六一 一五,〇〇〇
- 50 (独)エゴン・シーレ性素描画 DUMONT 一九六三 四四,〇〇〇
- 51 (独)G・クリムト性愛素描画 DUMONT 一九五九 二四,〇〇〇
- 52 (独)バイロス性愛銅版画 MELZER 一九五七 一八,〇〇〇
- 53 (英)ディアデレフ露国パレ H・R 一九五〇 一八,〇〇〇
- 54 (英)中世のモザイク F・ペタス SPRINGB 一九六〇 八,〇〇〇
- 55 (仏)J・A・HOUDONとその時代 JOUVE & C G・ジャコメッティ 全三冊 一九六一・一九五九 四四,〇〇〇
- 56 (独)DIE MODE 中世19世紀 BRUCKMANN M・V・ボーエン 全八冊 一九六一 六〇,〇〇〇
- 57 (英)WYC INANKA LUDOWA切紙集 一九五五 二五,〇〇〇
- 58 (英)SEXALOUQUINTUR石版画 W・ウエーバー 一九六一 二〇,〇〇〇
- 59 (英)PHOTO GRAPHIS 写真年鑑 174'75'76 各七〇〇
- 60 (英)GRAPPHIS POSTERS 広告年鑑 73'74'75'76 各五,〇〇〇
- 61 (英)J・CALLOT作品集 全一卷R & B 一九六一 二〇,〇〇〇
- 62 (英)DAS BAUHAUS H・M・ヴィングラ 一九五七 二六,〇〇〇
- 63 (英)PICASO 初期(一九一七) RIZOLI 一九六〇 五,〇〇〇
- 64 (英)PICASO 生涯百年の為に I・CALENDES 一九六一 二〇,〇〇〇
- 65 (英)PICASO 理解 D・ポルチオ他 NEWSWEEK 一九五七 七,五〇〇
- 66 (英)カタルナのPICASSO J・P・FABRE 一九六〇 一五,〇〇〇
- 67 (英)PICASSOの小さな世界 ダンカン 一九五七 四,〇〇〇
- 68 (英)PICASSOムージンの女性達 一九六〇 三六,〇〇〇
- 69 (英)ピカソのピカソ D・ダンカン 五百冊 古書在庫目録発行 切手可一七〇円 三三,〇〇〇

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キクオ書店

電話(〇七五)二三二一七六三四
振替 京都 八一七六四〇

当店は和書・国史・東洋史・郷土史・民族・民俗学・洋書・東洋・日本・民族・探検・山岳・文学・美術・本・西洋古本を専門に売買しております。

海外の登山・探検書の特集

- 1 山岳征服冒険記 久野豊彦 初版 昭12 二、五〇〇
- 2 世界処女峰初登頂物語 三木高岑 初版 昭31 二、五〇〇
- 3 中央アジア探検史 (深田久弥山の文学全集第十一巻) 昭49 二、八〇〇
- 4 ヒマラヤ登山史 藤木九三 アテネ文庫 昭25 六、〇〇〇
- 5 (英)高峰登山史 ニュービー 写真・図版 九七、四〇〇
- 6 (英)世界山岳案内 クレアー 写真・地図 九七、五〇〇
- 7 (英)世界の山々 ブール(ポニントン序) 一九〇三、五〇〇
- 8 切手II世界の山めぐり 山溪文庫 昭42 一、〇〇〇
- 9 (英)登山百科 アンスワース 一九五三、三、八〇〇
- 10 (英)大岩壁登山術 スコット 写真・図版 九七、七、六〇〇
- 11 (独)アルプス山岳スキー案内 写真・地図 九七、三、五〇〇
- 12 ヒマラヤ山と人 深田久弥 初版 昭31 七、五〇〇
- 13 天國ヒマラヤ レンヒンベルク 朋文堂 昭34 四、五〇〇
- 14 ヒマラヤ 日本人の記録 徳岡孝夫 昭39 一、八〇〇
- 15 ネパール・ヒマラヤ テイルマン 昭52 三、八〇〇
- 16 ヒマラヤ・ネパール 岩波写真文庫 昭28 六、〇〇〇
- 17 八千メートル上と下 ヘルマン・ブール 朋文堂 昭30 四、〇〇〇
- 18 天国と地獄のあいだ ヒーベラー 二見 昭42 二、五〇〇
- 19 ヒマラヤに挑戦して パウル・パウア 昭6 七、〇〇〇
- 20 ヒマラヤの生涯 ロングスタッフ 白水社 昭32 三、八〇〇
- 21 わが山の生涯 ロングスタッフ 白水社 昭32 三、八〇〇
- 22 ナンガ・バルパットの悲劇 長井一男 昭17 三、八〇〇
- 23 カンチエン・チュンガ登攀記 パウエル 昭18 三、〇〇〇
- 24 処女峰アンナプルナ エルゾーグ 昭28 二、五〇〇
- 25 マカール・全員登頂 フランコ 白水社 昭31 三、八〇〇
- 26 雲の中のテント 女流登山家ヒマラヤ記 昭33 一、五〇〇
- 27 テンジンによるエヴェレスト征服 昭29 二、五〇〇

- 28 エヴェレストの魅惑 ガン・シン 昭39 二、八〇〇
- 29 (中)チオモランマ再次登頂(日本訳付) 昭50 一、八〇〇
- 30 エベレスト 毎日新聞社 大判函入 昭45 五、五〇〇
- 31 エベレスト登頂(毎日グラフ増刊) 昭45 一、八〇〇
- 32 ナンダ・コット登攀 大阪毎日 初版 昭12 一、〇〇〇
- 33 マナスラ探検記 我がナンダ・コットの征服竹節初 昭19 四、五〇〇
- 34 マナスラ写真集 (函筒・少汚) 昭31 九、八〇〇
- 35 アビー悲劇と幸運の山 江上 康 初版 昭36 六、五〇〇
- 36 栄光への挑戦―ギャチュンカン登頂 初 昭40 五、八〇〇
- 37 女六人ヒマラヤを行く 細川沙多子 昭37 一、〇〇〇
- 38 ヒマラヤ七四〇三(三)―女性によるヒマラヤ初登頂 昭44 五、〇〇〇
- 39 神々の白い峰―グルジャヒマール登山記 昭47 四、五〇〇
- 40 ランタン・リルン 大阪市大山岳会 昭55 六、〇〇〇
- 41 鳥葬の国―秘境ヒマラヤ探検記 川喜田 昭35 一、〇〇〇
- 42 ネパール通信 岩村昇・史子 昭48 一、二〇〇
- 43 カラコルム―クシラ探検記 昭31 四、五〇〇
- 44 カラコルムを越えてヤンブハズバンド 角川文庫 昭43 一、五〇〇
- 45 最後の青い山―オクスフォード大・ハルモニエ連記 昭36 九、五〇〇
- 46 ガツツアルム4―カラコルムの最後の登山記 昭37 六、五〇〇
- 47 わが心魂のK2 新頁 勲(走馬) 昭53 六、五〇〇
- 48 コンダスの女王・シェルピカンリ 神大 昭53 五、八〇〇
- 49 ノシヤック登頂 京大士山岳会 昭36 七、五〇〇
- 50 サルトロ・カンリ 京大士山岳会 昭39 九、八〇〇
- 51 ヤルト・カン 京大士山岳会 昭50 七、〇〇〇
- 52 アフガニスタン紀行 岩村 忍 昭30 三、〇〇〇
- 53 砂漠と氷河の探検 木原 均 昭31 四、五〇〇
- 54 アンデスからヒマラヤ 隊の記録 昭41 七、八〇〇
- 55 チベット F・マライニ 大判写真集 昭17 八、五〇〇
- 56 チベット 田村肥佐生 昭43 二、八〇〇
- 57 チベット 田村茂写真集 昭31 一、五〇〇
- 58 エヴェレストより高い山 大森貞介 昭31 二、〇〇〇
- 59 アルプス及コーカサス登山 マンメリー 昭13 三、八〇〇
- 60 雪山の生活者 トレンカー 第一書房 昭10 一、五〇〇
- 61 岩・氷・ランブ コスト 朋文堂 昭12 二、〇〇〇
- 62 青春の氷河 ロッシェ 三笠書房 昭31 一、五〇〇
- 63 ザイルのトップ ロッシェ 白水社 昭31 一、八〇〇
- 64 山に還る ロッシェ 白水社 昭33 二、〇〇〇
- 65 山の魂 スマイス 朋文堂 昭32 一、五〇〇

- 66 死はともに登る ヒーベラー 二見 昭41 二、五〇〇
- 67 わが回想のアルプス レイ 三笠書房 昭43 一、三〇〇
- 68 星と嵐―六つの北壁登行 レビューファ 昭33 二、五〇〇
- 69 雪と岩 レビューファ 新潮社 昭36 四、五〇〇
- 70 アルピニスト岩壁に登る エルゾーグ 昭34 一、〇〇〇
- 71 赤い針峰 パウム 朋文堂 昭34 一、〇〇〇
- 72 大岩壁 クリ―ア 三笠書房 昭31 一、五〇〇
- 73 アルプス三つの壁 ヘックマン アイア 昭41 二、八〇〇
- 74 ドリュエの西壁 マニョーヌ 朋文堂 昭34 一、六〇〇
- 75 登頂あと三〇〇(一)―アイガー北壁初登頂 高田光政 昭40 一、六〇〇
- 76 われ北壁に成功せり コンサイス科学文庫 昭7 一、五〇〇
- 77 氷雪のアルプス コンサイス科学文庫 昭7 一、五〇〇
- 78 アルピニストの心 コスト 新書版 昭39 七、〇〇〇
- 79 アルプス山とライン河 中目覚 七四頁 大 九 五、〇〇〇
- 80 アラスカの山に挑む 栗林一 昭42 四、五〇〇
- 81 大氷河を行く―南米チリ・パタゴニア探検 田中薫 昭33 三、〇〇〇
- 82 インディオの秘境 藤木高嶺 昭37 二、五〇〇
- 83 アメリカの山旅 東 良三 昭21 一、〇〇〇
- 84 赤道直下の寒帯―山岳探検記 大木篤夫 昭6 四、〇〇〇
- 85 ケニヤからキリマンジャロへ 新潮社 昭32 二、〇〇〇
- 86 台湾の山 児島勘次 初・少 昭9 六、五〇〇
- 87 山と雪と番人と―台湾高山紀行 鹿野忠雄 昭16 六、五〇〇
- 88 韓国・智異山登山報告書 京都山友クラブ 昭47 六、五〇〇
- 89 南極記―白瀬中尉探検隊報告書 初版 大 2 九、〇〇〇
- 90 世界最悪の旅 チェリガラー 初版 昭16 二、五〇〇
- 91 極地集誌 加納一郎 昭19 二、五〇〇
- 92 未踏への誘惑―二十五人の極地探検 加納一郎 昭31 一、五〇〇
- 93 昭和基地―南極の日本観測隊 朝日新聞 昭32 一、五〇〇
- 94 ペンギン日記 朝日奈菊雄 読光 昭32 一、七〇〇
- 95 からふといぬ―南極へいった ソリ大 昭34 三、〇〇〇
- 96 写真集・南極 横長本 朝日新聞 昭37 四、五〇〇
- 97 世界山岳名著全集 四・八・十一巻 昭42 各一、五〇〇
- 98 ヘーデン探検紀行全集 別巻共十七冊 昭50 三、〇〇〇
- 99 西域探検紀行全集 探検史 十五冊 昭50 三、〇〇〇
- 100 探検と冒険 八冊揃 朝日新聞社 昭47 九、五〇〇
- 101 エーデルワイスシリーズ 六冊揃 角川 昭43 八、〇〇〇
- 102 今西錦司全集 十二冊揃 中央公論 昭50 三、〇〇〇

◎「欧米古書目録」民族・歴史・日本・東洋・中央アジア特集号「発行しました。送料一七〇円(切手可)

千 603 京都市北区山下内河原町六三
古 書 籍 東 方 書 店

電話 (〇七五) 四九一—二〇七一

- 1 白虎隊とその教育 大久保龍 昭18 八、〇〇〇
- 2 石田梅嶽教育説選集 日本教育文庫 少書入れ 昭12 四、〇〇〇
- 3 教育精神の研究 小西重直 少書入れ 昭12 五、〇〇〇
- 4 新教育計画 伊藤忠彦他 昭12 三、〇〇〇
- 5 国民学校の具体的展開 深瀬竹次 昭16 三、〇〇〇
- 6 筋骨薄弱者の体操 三橋体育研究所 昭17 八、〇〇〇
- 7 児童と結核 原島進他 昭17 五、〇〇〇
- 8 学習指導の基本問題 青木誠四郎 昭23 四、〇〇〇
- 9 ルーの教育思想 稲富栄次郎 一六九 五、〇〇〇
- 10 職業の解説 第三集 日本職業指導協会 昭24 四、〇〇〇
- 11 模範綴方全集 第一―六年 中央公論社 昭14 各 三、〇〇〇
- 12 体育学精義 大谷武一他 タイトル欠 昭6 一六、〇〇〇
- 13 体育生理学要綱 小笠原道生 印あり 昭3 三、〇〇〇
- 14 国史教育原論 栗田元次 印あり 昭9 八、〇〇〇
- 15 体系的修身科精義 岡田怡川 印あり 昭15 七、〇〇〇
- 16 教育方法論 吉田憲次 昭17 九、〇〇〇
- 17 広瀬淡窓 日本教育先哲双書 小西重直 昭15 三、〇〇〇
- 18 東亜の問題と欧米の教育 沢柳政太郎 昭15 三、〇〇〇
- 19 我子の学校 西村伊作 昭2 六、〇〇〇
- 20 吉田松陰とその教育 後藤二郎 昭6 五、〇〇〇
- 21 母の愛育全集 揃五冊 一函 主婦之友社 昭16 一五、〇〇〇
- 22 尋一母子講座 一巻―七巻迄揃 非凡閣 昭13 一五、〇〇〇
- 23 満洲歴史地理 藤田元春 昭13 四、〇〇〇
- 24 商業算術精義 上下 柳葉健治 昭11 八、〇〇〇
- 25 地理教育録唱歌集 大和田建爾表紙スミ書き 昭13 四、〇〇〇
- 26 幼稚園唱歌集 全文部音楽取調掛編 ショウリ 昭13 四、〇〇〇
- 27 小学唱歌集 第二編 全文部音楽取調掛編 ショウリ 昭13 五、〇〇〇
- 28 史伝中心感懐の国史上巻 小酒井儀三 昭12 五、〇〇〇
- 29 教育の中心と教育者 下巻 土田杏村 昭12 五、〇〇〇
- 30 教授原論 篠原助市 昭17 六、〇〇〇
- 31 勞作教育新論 梅根悟 一函 昭8 一五、〇〇〇
- 32 たじか教育の方法 奈良女高師附屬小学校学習研究会 昭24 二六、〇〇〇
- 33 最近大教育学 全 熊谷五郎 昭16 三〇、〇〇〇

- 34 年少勞働者の教育と訓練 勞働省婦人少年局 昭25 七、〇〇〇
- 35 教師必携 詳註小学入門 全 榊原芳野編 裏表紙内側書入れ 昭10 三、〇〇〇
- 36 純粹教育学原論 石山修平 昭2 八、〇〇〇
- 37 新制中学校と職業指導 日本職業指導協会 昭23 五、〇〇〇
- 38 学習原論 木下竹次 印あり 昭4 一五、〇〇〇
- 39 六十周年記念号 和歌山師範学校 昭10 六、〇〇〇
- 40 薩東代容量分析上冊(厚) 文部省印行 少シミ 昭18 一〇、〇〇〇
- 41 中等歴史 一一 文部省 昭19 各 三、〇〇〇
- 42 開校十年 天理外国語学校、天理女子学院 昭10 三、〇〇〇
- 43 年報 大2―大3年 京都府立第一中学校 昭25 三、〇〇〇
- 44 くにのあゆみ 中学一、二、三年用 文部省 昭25 三、〇〇〇
- 45 小学校社会科学習指導要領補説 文部省 昭23 四、〇〇〇
- 46 生物 全 検定済 中学校教科書(株) 昭19 三、〇〇〇
- 47 小中学校社会科の解説 文部省編(下部) 昭30 二、〇〇〇
- 48 中学生の体育指導書 二葉中学生体育編修部 昭30 二、〇〇〇
- 49 小学校学習指導書 理科編上下 文部省 昭28 三、〇〇〇
- 50 真宗大谷大学一覽 大6―大7年 昭19 二、〇〇〇
- 51 福井農農教科書検定済 卷一 其教育会編 昭19 二、〇〇〇
- 52 中等文法 二 文部省 昭19 二、〇〇〇
- 53 洋算用法 全 柳川春一 安政4 三、〇〇〇
- 54 尋常小学新定面帖 五年児童用 文部省 昭4 三、〇〇〇
- 55 尋常小学面帖 三年児童用 文部省 昭3 二、〇〇〇
- 56 高等小学読本 卷一、二、三 農村用 文部省 昭8 各 二、〇〇〇
- 57 日本の歴史 文部省 昭24 三、〇〇〇
- 58 学習指導要領I社会科編(試案) 文部省 昭22 三、〇〇〇
- 59 図学教科書図式一 飯沼基次郎他 昭13 各 三、〇〇〇
- 60 東京高師附屬中学校一覽 大6―7年 昭17 四、〇〇〇
- 61 師範国史 下巻 文部省 昭16 三、〇〇〇
- 62 自然の觀察 一、教師用 文部省 昭16 三、〇〇〇
- 63 東西西洋史 卷一、四 原男六編 昭29 各 二、〇〇〇
- 64 尋常小学面帖 二学年児童用 文部省 昭7 二、〇〇〇
- 65 高等女学校園教書書伴 阿部七五三吉他 昭2 二、〇〇〇
- 66 各種学校水彩画手本第三編 吉野耕雲 昭8 三、〇〇〇
- 67 標準画法 第二巻 検定済 阿部七五三吉 昭10 三、〇〇〇
- 68 台湾総督府台北中学校諸規則 一枚刷 昭10 三、〇〇〇
- 69 大阪府八尾中学校一覽表 一枚刷 昭5 三、〇〇〇
- 70 郷土読本号 伏見第一尋常小学校 昭9 八、〇〇〇
- 71 教育学講義 春山作樹 少書入れ 昭9 八、〇〇〇

- 72 新体用器画教本 第二巻 藤田亀三郎 検定済 昭6 三、〇〇〇
- 73 新体用器画教本 図画教育刷新会 検定済 昭11 三、〇〇〇
- 74 郷土の生活 職業家庭科中学2 検定済 昭26 三、〇〇〇
- 75 坊く喜び 農村生活1、2、3 職業教育協会 検定済 昭28 三、〇〇〇
- 76 明るい農村1 日本職業家庭科研究会 検定済 昭26 三、〇〇〇
- 77 坊くちから 職業家庭科二、三年 都市向 昭26 三、〇〇〇
- 78 明るい農村 職業家庭科三、四年 農村向 昭26 三、〇〇〇
- 79 社会と職業2 中学職業家庭科 講談社 検定済 昭29 三、〇〇〇
- 80 こばの生活1、3 中学国語科斉藤清衛 検定済 昭27 各 三、〇〇〇
- 81 職業指導 中学校用 日本職業指導協会 検定済 昭22 三、〇〇〇
- 82 柳池校七十年史 京都柳池国民学校 検定済 昭17 七、〇〇〇
- 83 郷土の生活1 中学校用 野尻重雄他 検定済 昭26 三、〇〇〇
- 84 社会と職業 中学職業家庭科一、二年 講談社 検定済 昭26 三、〇〇〇
- 85 合衆国教育使節団報告書 第二輯 昭21 五、〇〇〇
- 86 作法要項解説 文部省調査 中等教育学会 昭11 四、〇〇〇
- 87 尋常小学地理書附圖 文部省 昭6、13、17年 昭13 各 三、〇〇〇
- 88 高等小学国史 上、下巻 文部省 昭13 四、〇〇〇
- 89 進行曲 瓜生繁 十字屋発行 昭5 六、〇〇〇
- 90 ビックリ童謡曲集 かくれんぼ 中山晋平 昭5 六、〇〇〇
- 91 日曜学校教授法 寶田豊彦 昭4 六、〇〇〇
- 92 児童説教 吉田源次郎 昭2 四、〇〇〇
- 93 看護教程 上、中、下 日本赤十字社合本 昭6 八、〇〇〇
- 94 日本哺乳動物史 直良信夫 昭19 八、〇〇〇
- 95 支那草木虫魚記 沢村幸夫 函美 昭13 一〇、〇〇〇
- 96 三分紀行 稲葉現測 昭11 二、〇〇〇
- 97 パブテスト教会史略 久代治徳 昭25 二、〇〇〇
- 98 画入宮本武蔵 添田達嶺 函 昭21 八、〇〇〇
- 99 生活保護の基本問題 小山進次郎編 昭11 八、〇〇〇
- 100 最新満洲写真帖 山崎鑿一郎編 昭9 九、〇〇〇
- 101 日本科学史 山本成之助 昭22 三、〇〇〇
- 102 新築道 立枝寝技篇 尾崎治名 枝 昭9 各 四、〇〇〇
- 103 大陸非常線 山中峯太郎 保存良 昭8 一五、〇〇〇
- 104 北海アルプス写真帖 大雪山調査会 昭15 二、〇〇〇
- 105 夜の進軍ラップ 小川未明 初カバ1 昭2 六、〇〇〇
- 106 陵墓一覽 神戸参陵会 昭18 五、〇〇〇
- 107 梶と櫓 宮田勝善 昭18 六、〇〇〇
- 108 自動車と汽車 隈部一雄 昭19 四、〇〇〇

吉川幸次郎色紙
南京懐旧絶句

一一〇,〇〇〇円

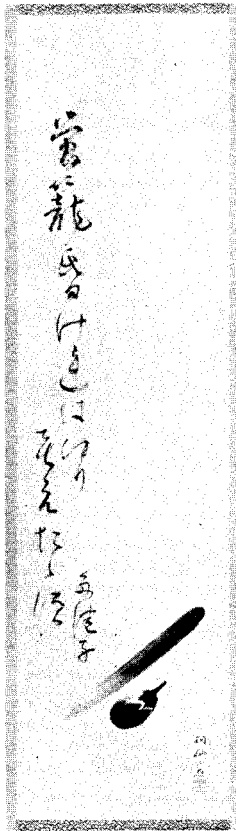


橋本多佳子句讀

洞仙堂蔬菜図

洞仙堂箱書

一幅 一六〇,〇〇〇円



高浜虚子句幅

姿立子箱書

一幅 二七〇,〇〇〇円



中林梧竹一行書
箱ナシ

一幅 五〇〇,〇〇〇円



奥山儀八郎版画

伊藤左千夫先生像

一額 四八,〇〇〇円



〒530

大阪市北区芝田一丁目六番二号
阪急古書のまち

(株) 臨川書店 大阪店

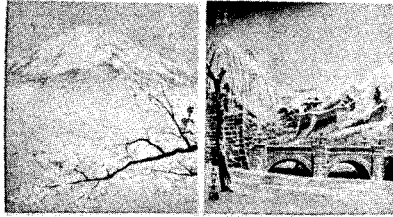
電話(〇六)三七四一三〇〇
振替 京都 八〇〇〇〇

営業時間 午前十一時—午後八時 定休日 毎週水曜日

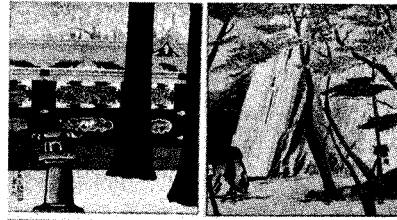


徳力富吉郎 創作版画
扇面京都の四季 24枚揃
昭和17年 ¥95,000

〒604
京都市中京区寺町通錦上ル
大書堂
電話(〇七五)二二二一〇六八五
振替 京都 三一六一六五



徳力富吉郎 創作版画 君が代 袋入
6枚揃 ¥25,000



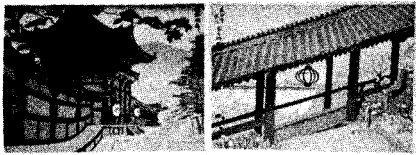
徳力富吉郎 創作版画
日本名勝八景 袋入
八枚揃 四〇,〇〇〇円



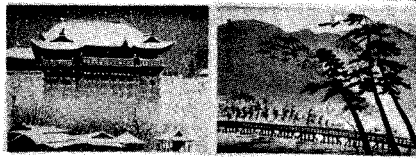
徳力富吉郎 創作版画 東京八景 映入
昭和17年 8枚揃 ¥40,000



徳力富吉郎 創作版画 京都八景 袋入
昭和18年 8枚揃 ¥40,000



徳力富吉郎 創作版画
大和路八景 映入
8枚揃 昭和17年
¥40,000



徳力富吉郎 創作版画
伊勢路八景 8枚揃
¥40,000



徳力富吉郎 創作版画
四季奈良風景 映入
4枚揃 ¥20,000



〒600 京都市下京区寺町通仏光寺

三密堂書店

電話(〇七五)三五一一九六三三
振替 京都 三 四七六一

- 1 仏教概論 高木俊一著 興教書院昭16 六,〇〇〇
- 2 仏教各宗綱要 小林一郎著 大乘仏教会昭30 六,〇〇〇
- 3 和英対訳仏教聖典仏教伝道会編同法人 昭43 三,三〇〇
- 4 唯識一十論の対訳研究佐々木月樵著内外出版大11 一五,〇〇〇
- 5 聖徳太子伝講義 佐藤藤英著 興教書院大12 一五,〇〇〇
- 6 宗教の表現 藤 秀瑠著 興教書院昭17 一〇,〇〇〇
- 7 宗教の真理性 中路鳴雄著 比叡書房昭30 三,〇〇〇
- 8 澤庵珍話集 茶狂堂主人著 成光館昭10 二,〇〇〇
- 9 一樹の蔭 足利浄園著 春秋社大12 一,五〇〇
- 10 阿弥陀経講話 金子大栄著 全人社昭23 一,五〇〇
- 11 平易に説いた大無量寿経尾山真訶著仏教経典昭5 二,〇〇〇
- 12 平易に説いた華嚴経吉祥真道著仏教経典昭5 二,〇〇〇
- 13 平易に説いた維摩経武田黙全著仏教経典昭5 二,〇〇〇
- 14 平易に説いた大般涅槃経志賀善海著仏教経典昭5 二,〇〇〇
- 15 平易に説いた法華経井上賢海著仏教経典昭5 二,〇〇〇
- 16 勝鬘経義疏 佐伯定胤著 山城屋大昭14 二,五〇〇
- 17 般若心経講義 梅田無学著 山城屋大昭12 一,五〇〇
- 18 般若心経の解説和田聖公著 霞ヶ関書房昭43 一,五〇〇
- 19 周易講義五冊揃 山岸輯光著 文文社大6 八,〇〇〇
- 20 訓點周易正文 木村茂一郎著高島易断昭3 三,〇〇〇
- 21 周易病占秘訣 大島中堂著 生生書院大7 五,〇〇〇
- 22 周易象意秘訣 松原宏整著 山城屋昭14 四,〇〇〇
- 23 周易象意秘訣六冊揃大橋義三著 文求堂文化4 八,〇〇〇
- 24 周易又玄解五冊揃井上主殿著 宋栄堂文化7 八,〇〇〇
- 25 断易十八問答秘解大熊光山秘伝 香草社昭49 八,〇〇〇
- 26 推命の秘訣 石橋菊子著 方象学院昭20 四,〇〇〇
- 27 住宅運命観 田中茂公著 不老弾室大10 二,〇〇〇
- 28 南北相法極意抄 水野南北著 報徳会昭14 二,〇〇〇
- 29 観相精通 今村雄峯著 同刊行大10 五,〇〇〇
- 30 人相術実占集 尾栄大寛著 日光堂昭42 五,〇〇〇
- 31 人相吉凶秘伝 尾栄大寛著 日光堂昭40 四,〇〇〇
- 32 手相術 尾栄大寛著 日光堂昭41 四,〇〇〇
- 33 性命の科学 内藤辰雄著 芳久社昭29 一,五〇〇

出町と衣笠 (株) 善書堂

出町店 〒602 上京区河原町通今出川上ル
電話(〇七五)二二二一七七一
衣笠店 〒603 北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二一三三七一

★出町店・英米文学研究書在庫案内★ 第一報

- シエイクスピア全集(中公) ヴァージニアワルフ著作集
- 英米文学史講座 土居光知著作集 英語歳時記 講座比較文学 曲中人物(矢野) オルダスハックスレイ研究(堀)
- アメリカ文学の歴史的背景(高垣) シエイクスピア研究(橋)
- ハムレットの悲劇(大山) 沙翁舞台とその変遷(上田) シエイクスピア(ローレ) ラシニスとシエイクスピア(スタンダール) シエイクスピア(吉田) シエイクスピア人間観研究(大山) 総合研究シエイクスピア(中野) シエイクスピア批評史研究(中西) シエイクスピアの言語と表現(山本) シエイクスピア手帖(大塚)
- シエイクスピア詩集(吉田) 悲劇オセロ(菅野) ハムレット序説(中西) シエイクスピア序論(中西) 近松とシエイクスピア(宮森) シエイクスピア論(吉田)
- トーマスハーディイ文学論考(山本) ウイリアム・モリス(加田) 外来語学序説 荒川 アイルランド演劇研究(山本) ベドオス論攷(菅野) エリオット全集(エリオット) 近英文芸批評史(矢野) 失樂園の詩的形而上学(岩橋) エリザベスとエセックス(片岡) 英文学風物誌(中川) 基督教的文学観(石田) パーナード・シヨオ真髓(石田) ジョンソン博士とその群(石田) 詩の起源(竹友) ロバート・ブライウニング(曾根) ユージン・オニール研究(山内) タビラへのうた(斎藤) 英国自然美学の研究(金子) チョーサー研究(梶井) ホキットマン讃美(永見) 英国の風物(篠田) ダンテ・ロゼッティの研究(小日向) 此の最後の者にも(石田) 英詩鑑賞(斎藤) 英文学史の背景(日高) アプトンシンクレア評伝(小野) 文芸思潮論(厨川) 近代の英文学(福原) 英文学印象記(平田) 竹友漢風選集 哀詩イノヴァン(晴谷) ロレンス文学論(伊藤) ロレンスの生涯(庄司) ウォルター・ペイターの研究(植木) ジェイン・オースティン論考(海老池) コウルリジの文学論(加藤) 近代英文学史(矢野) 趣味の英文学(三木) 英国小説史(佐治) アメリカ批評の研究(佐久間) アメリカ文学論(高垣) 文学論(竹友)

〒600 京都市下京区七条通堀川角 谷書店

電話(〇七五)三六一一七六九五
振替 京都 一 一七九

- 1 無宗教時代と仏教 二葉憲香 昭36 六,五〇〇
- 2 根本仏教概観 宇井伯寿 昭15 一,五〇〇
- 3 馬鳴の研究 金倉円照 昭44 二,〇〇〇
- 4 大無量寿経入門 佐々木憲徳 昭31 二,五〇〇
- 5 日本上代文化と仏教 堀 一憲 昭16 二,〇〇〇
- 6 日本仏教史話 相葉 伸 昭18 三,〇〇〇
- 7 仏教諸宗概説 大谷大学編 昭16 三,〇〇〇
- 8 仏教史雑考 松本文三郎 昭19 三,〇〇〇
- 9 聖徳太子三経御疏 藤井直正 昭27 一,五〇〇
- 10 聖徳太子三経御疏 高楠・望月編 昭18 三,〇〇〇
- 11 聖徳太子三経御疏 佐伯定胤校訂 和装 昭15 三,五〇〇
- 12 大無量寿経講話 上 金子大栄 昭12 一,五〇〇
- 13 観無量寿経講話 金子大栄 昭12 三,〇〇〇
- 14 親鸞教の研究 物序・教巻 金子大栄 昭18 二,〇〇〇
- 15 教行信証講話 信巻 金子大栄 昭19 一,〇〇〇
- 16 教行信証講話 證巻 金子大栄 昭19 一,〇〇〇
- 17 教行信証御自釈管窺 住田知見 昭9 三,五〇〇
- 18 浄土系思想論 鈴木大拙 昭17 二,五〇〇
- 19 日本仏教史之研究 正 辻善之助 昭17 五,〇〇〇
- 20 華嚴思想史 高峰了州 昭17 四,〇〇〇
- 21 真宗七祖の教義概要 塚本啓彦 昭41 四,五〇〇
- 22 初期仏教伝史の研究 塚本啓彦 昭11 八,五〇〇
- 23 新訳華嚴経 原田靈道 昭11 三,〇〇〇
- 24 法句経 里見達雄 昭11 二,〇〇〇
- 25 楞伽経 三井品史 昭11 二,〇〇〇
- 26 維摩経 岩野真雄 昭11 二,〇〇〇
- 27 金光明経 原田靈道 昭11 二,〇〇〇
- 28 大般涅槃経 長谷川良信 昭11 三,五〇〇
- 29 邪淫戒経 北川智聖 昭11 三,五〇〇
- 30 大法華三部経 三井品史 昭11 三,五〇〇
- 31 法華三部経 里見達雄 昭11 二,五〇〇
- 32 浄土三部経 岩野真雄 昭11 二,〇〇〇
- 33 浄土三部経 岩野真雄 昭11 二,〇〇〇

千604 中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(〇七五)八二一三八九〇

- 1 開化物織京都みやげ 第2輯裏表紙欠 明9 八〇〇
- 2 知行所末雀村御高 25石上納書一通 天保13 二〇〇
- 3 武田玄伯書状一通 黒作小刀一本進上云々 天和3 八〇〇
- 4 釈迦如来より地獄極楽茶々書状一通 江戸末 三〇〇
- 5 日蓮宗本園寺宛書状一通竹腰山城守外連名尾張殿 八〇〇
- 6 三井元之助宛書状一通 夷々斎筆 代金目録云々 八〇〇
- 7 今日庵13世門能齋宗室筆許状銀婚記念印有 大2 八〇〇
- 8 響入りの節歌立表 一紙 慶応元 三〇〇
- 9 伊東筆奈良松瑞君へ書状一通江戸表長州屋敷云々 三〇〇
- 10 左京亮禮相整慶儀為銀一包祝出 殿様書状 五〇〇
- 11 下立売西大路年寄利衛筆装束一通 宝暦6 三〇〇
- 12 阿州藤井寺四国霊場摺袈裟一通お守 明治初 二〇〇
- 13 菊坡源光弼筆 島田番根宛書翰一通虫入 三〇〇
- 14 剣術伝書 一通 破れ傷物 元禄11 三〇〇
- 15 二条城武士藤嶋山山城筆借金申込書下鴨鈴木や宛 三〇〇
- 16 色紙 菊地契月筆 桔梗之図 八〇〇
- 17 色紙 金島桂華筆 赤かぶら白菓之図 大13 六〇〇
- 18 色紙 鈴木信太郎筆 リンゴ之図 八〇〇
- 19 広益諸家人名録 天保7 八〇〇
- 20 絵入鷹之羽伝記 写本 江戸末 八〇〇
- 21 祐宮様明治天皇山中家へ御下り中諸弘帳 安政3 一五〇
- 22 近江国彦根関係文書 八点 明治初 五〇〇
- 23 中村孫平太筆感状一通岸和田城主三木城攻 天正7 一五〇
- 24 書道手本断蘭一紙 大名用書き手本 江戸中 三〇〇
- 25 木村行高玉心流流籠一覚新流当身3巻伝書 明18 三〇〇
- 26 木板画はり付箱一個14cm×16cm小物入 明治初 三〇〇
- 27 任兵部大録書一通兵部郷郷仁頼王兵部書印書 明3 一五〇
- 28 二条御蔵人足差配人相統願書一通 文久2 二〇〇
- 29 浪速少将筆 書状一通保寿院元棟殿 五〇〇
- 30 連歌師里村玄川筆 住居修復云々状末尾欠 三〇〇
- 31 文年筆 直入宛書状一通 明29 三〇〇
- 32 大蔵流免許状 釣狐相伝一紙 江戸末 三〇〇
- 33 数内紹智筆書状一通寛齋鶴之図に就いて 明治初 三〇〇
- 34 長岡主水筆書状 長岡山城書状各花押入各一枚 三〇〇
- 35 請雨経法秘伝等略記康平8襲姿之事外 弘安2 五〇〇
- 36 泉州堺之下管 一紙 江戸末 一五〇
- 37 大阪府下管下細見新図 水ぬれ 明12 一五〇
- 38 色紙准后様御筆きりくす鳴くや霜夜の 一五〇
- 39 去二日夜地震二而死人届出分 江戸大名家来数 三〇〇
- 40 北米シカゴ絵葉書一枚飛行機飛ぶ写真 大4 二〇〇
- 41 色紙五色和歌5枚公純有容公正信堅忠順筆 五〇〇
- 42 井蛙筆 松波先生宛書状一通 古筆 八〇〇
- 43 香炉并灰50種香等伊勢津筆本願寺殿如藏 慶安4 五〇〇
- 44 櫻井与兵衛筆 宗巴宛 書状一通 三〇〇
- 45 伊藤東涯先生唐詩帖 肉筆折帳 八〇〇
- 46 仁和寺御准頂職交名 真言宗 元禄5 五〇〇
- 47 本多中務忠頭筆 書状一通めぐり 江戸初 五〇〇
- 48 弘法大師 妙覚門額字 写 一紙虫入 二〇〇
- 49 婚姻の占書一通 復古堂筆 江戸末 二〇〇
- 50 抵園清町中村屋10ヶ年奉行人請状之事一紙 安政4 二五〇
- 51 名所角鈔宗紙作寛文6東本願寺殿如自筆 安政3 三〇〇
- 52 中川三河守左雄筆書状一通初官位許礼状 二〇〇
- 53 近衛家肥公筆滋野井入道返答書一通 五〇〇
- 54 東洞院四山形屋外講元調達銀振觸会則 江戸末 二五〇
- 55 鉄道線路設置の為田畑取調書東塩小路村 明6 五〇〇
- 56 京都伏見瓦合会社創立願書并認可并規則書 明4 五〇〇
- 57 西京鉄道会社規則書 銅版汽車絵入 明4 六〇〇
- 58 妙心寺住山 円應華印筆 草稿并覚書 天保13 一五〇
- 59 飯田助左衛門書状一卷 御茶3袋云々 八〇〇
- 60 日光御請6名目録に就て四国土佐正木村旧蔵 安永6 八〇〇
- 61 空海御書来目録 謹開慶慶賢 正安4 八〇〇
- 62 神楽屋佳生筆八ガキ一通 犬之図墨絵肉筆 明43 八〇〇
- 63 竹内権風先生筆八ガキ一通 未之図墨絵肉筆 明40 三〇〇
- 64 四柱推命鑑定書一通 宝山真明館 大10 二〇〇
- 65 橋本閑雪先生筆書翰一通 酒と絵の話 昭17 三〇〇
- 66 祇園安井社能 能組番附5紙 江戸末 五〇〇
- 67 白木屋江州館店より恩賞江州浅井郡川道村 嘉永元 二〇〇
- 68 チオコングの微笑 羽仁五郎 初版 昭22 二〇〇
- 69 国民は知る権利がある 羽仁五郎初版 昭25 二〇〇
- 70 歌集 やますげ 松村英一 箱欠初版 大13 三〇〇
- 71 生ひ立ちの記 トルトスイ徳田秋江訳初版 明41 三〇〇
- 72 安田善次郎伝 矢野文雄著 昭5 三〇〇
- 73 日本茶輸出百年史 静岡茶輸出組合 昭34 五〇〇
- 74 罪と罰 手塚治虫 漫画全集初版 昭52 二〇〇
- 75 帝都酒問屋仲買業絵巻 酒樽油時事新聞社 昭3 五〇〇
- 76 雑誌史料 西陣撲糸仲間の研究有京大史学研 昭2 二〇〇
- 77 心理学2冊 東大教授八木編 昭46 三〇〇
- 78 開国50年史 上下2冊 大隈重信撰初版 明40 一五〇
- 79 眼科秘録 山越勇玄 写本 寛政3 八〇〇
- 80 近代文芸12講 生田野上昇森田共著 大11 二五〇
- 81 於高野山真言法授書一巻沙門小忠虫入 応永22 五〇〇
- 82 坊野正受納状一通 明治初 二五〇
- 83 水戸藩藤田主膳(寺社奉行)外文書一袋 享和元 五〇〇
- 84 京都女筆長谷川氏佐野文章写之 京名所歌 享和4 五〇〇
- 85 胤定郷筆 前大納言宛 書状一卷 五〇〇
- 86 家相青龍之巻 秘伝一卷 一五〇
- 87 奥州喜美郡住生寺墨摺門光大師御自作真似像 一幅 五〇〇
- 88 北脇淡水筆 詩一幅京の儒者 安政頃 五〇〇
- 89 荒木正義筆 詩一幅 三〇〇
- 90 要峰筆 中国釣竿夫像(後の孔明) 古画 八〇〇
- 91 金地黃漢元坊筆 救護新王之招席上作一幅虫入 三〇〇
- 92 南画 一幅 江戸末 三〇〇
- 93 大洲宗寛老師筆 達摩像一紙 三〇〇
- 94 源章義生筆 放下着 3字一幅 三〇〇
- 95 遺唐船 宝舟 墨摺一幅 三〇〇
- 96 みだれ版 拓本 文津大黒尊像一幅 三〇〇
- 97 浄照法師筆 消息一幅 得業向岸法師宛 三〇〇
- 98 松籟着山筆 墨絵一紙 三〇〇
- 99 可日庵筆 福寿無窮 宝珠贊一幅 三〇〇
- 100 中国入 葉少乘筆花扇 一幅 八〇〇
- 101 下京四番頭絵入不行届萬端御申上候一幅 明初 三〇〇
- 102 稚鳳筆 鏡餅三宝珠之図 一絹 三〇〇
- 103 紀広成筆 虎之図 一幅 五〇〇
- 104 中国人 林再森筆 於錦城 詩一紙 三〇〇
- 105 京御入費金御算用目録 牢番給金料外 明3 五〇〇
- 106 第三重大治保定海記 真言密教書 天明4写 八〇〇
- 107 谷鉄臣筆 書翰一幅 五〇〇
- 108 耕畝筆 雀之図 雨水しみ一幅 二〇〇
- 109 高松公祐筆 鶴之歌一首 一幅雨水しみ 二〇〇
- 110 三松祖学和尚筆 竹圃賛 汚しみ有一幅 二五〇

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
電話(075-231-1914) 振替 京都 8-615

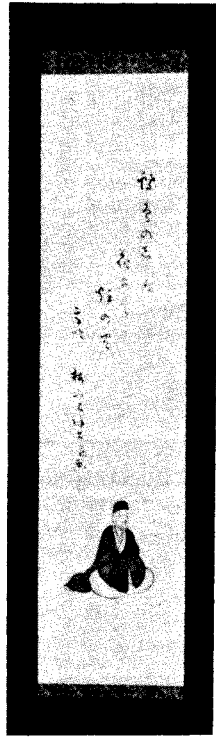
1 角上 自画像賛 (本紙24×41種) 絹三段装 桐箱入 一幅 一、二〇、〇〇〇円

大守よりの御消息に「大名医薬師如來と拝する許」などし
載れ書給ふ事などおもひいで、
薬日や瑠璃の光りも身に添へり
(身ノ部分ニ墨汚レアリ)



2 桜井梅室 芭蕉像自画像賛 (本紙19×81種) 金欄二段装 桐箱入 一幅 五五、〇〇〇円

蝶鳥のしらぬ花あり秋の空 高吟 梅室謹書并画題



3 大島蓼太短冊

としくに菊又ふらし菊の花

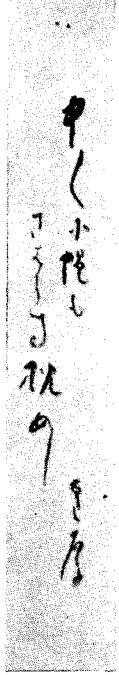
一五、〇〇〇円



4 井上重厚短冊

中々に蝶もさはらず枕めし

一〇、〇〇〇円



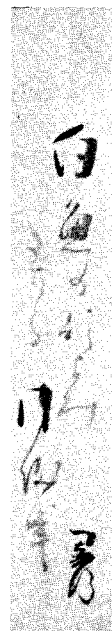
5 常世田長翠短冊 いろいろに狂藤もまたり早月雨 一〇、〇〇〇円



6 鈴木道彦短冊

白魚の歌よみたがる内儀哉

一〇、〇〇〇円



7 井上士朗短冊

松かさよ松露よ庵の灯はほし

八、〇〇〇円



8 五味可都里短冊

夏深しみわの白雲月に移り

六、〇〇〇円



9 田川鳳朗短冊

蝶人のおほきういふよりのり千し

六、〇〇〇円



10 素月尼短冊

待うちはさはるものなしほと、さす

三、五〇〇円



11 成田蒼虬短冊

柴のとを左右へあけて花の春

六、〇〇〇円

12 鶴田卓池短冊

鴨立て又一日の日暮かな

五、〇〇〇円

13 志倉西馬短冊

誘はれて踊るや垣のうちと外

五、〇〇〇円

14 桜井蕉雨短冊

題 湖邊

三、五〇〇円

15 谷川護物短冊

鳴や二羽どれを初音のほと、さす

三、五〇〇円

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五)三五二一九三三
振替 大阪 七三二一五一

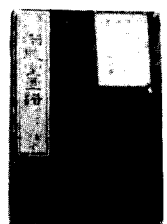
- 1 狂歌師觸屋良柳消息 本紙15×36 幅五、〇〇〇
- 2 賀茂季鷹筆和歌懷紙「若菜之和歌」 本紙30×47 幅二五、〇〇〇
- 3 賀茂季鷹筆和歌二行書「名所紅葉」 本紙120×270 幅二〇〇、〇〇〇
- 4 狂歌面贊「白骨之面贊」為松園園画 本紙106×35 幅二〇〇、〇〇〇
- 5 豐藏坊信海筆 狂歌懷紙 28×30 幅二五、〇〇〇
- 6 豐藏坊信海筆短冊 箱入 幅一、〇〇〇
- 7 皆川棋園二行書 詩文 幅一、〇〇〇
- 8 市川米菴筆「雨中鴨川詩文」 半切 幅一、〇〇〇
- 9 松井蝸庵一行書 出雲の儒者 幅一、〇〇〇
- 10 物部日暉上人首題 明治三年 妙経草什 幅一、〇〇〇
- 11 永源寺石蓮筆「春日朝紅深」表具イタミ有り 幅一、〇〇〇
- 12 近衛基熙公筆 和歌書狀 花押有り 30×54 枚三、〇〇〇
- 13 三條西公福筆 七夕同詠和歌懷紙 38×50 枚二、〇〇〇
- 14 清水谷美業筆 春日同詠和歌懷紙 38×52 枚二、〇〇〇
- 15 武者小路美陰書狀「明廿八日本徳御幸云々」 31×44 枚一、〇〇〇
- 16 飛鳥井雅章書狀 30×42 枚二、〇〇〇
- 17 白川雅喬和歌詠草 海辺月天和三年 15×42 枚三、〇〇〇
- 18 中御門宣誠詠草 叢螢 四首 16×42 枚三、〇〇〇
- 19 中院通枝詠草 叢螢 四首 16×44 枚三、〇〇〇
- 20 中院通茂 和歌色紙 銀泥下絵 18×17 枚三、〇〇〇
- 21 醍醐冬熙色紙 舜蓮法師和歌 一枚 二、〇〇〇
- 22 日野實時色紙 西行法師和歌 一枚 二、〇〇〇
- 23 烏丸光栄色紙 藤原定家和歌 一枚 二、〇〇〇
- 24 遺告諸弟子等 江戸初期古写本 長巻一、〇〇〇
- 25 梵語千字文 明治摺 大本 五、〇〇〇
- 26 科註入阿毘達磨論 明治摺 大本 四、〇〇〇
- 27 三論玄義 明治摺 大本 三、〇〇〇
- 28 法界次第初門 明治摺 大本 三、〇〇〇
- 29 龍頭原人論發微録 明治摺 大本 三、〇〇〇
- 30 六論衍義大意 弘化版 大本 三、〇〇〇
- 31 扶桑畫人伝 弘化版 大本 五、〇〇〇
- 32 皇位継承篇並纂輯御系図 元老院藏版 大本 八、〇〇〇
- 33 六経天文編 淺儀王応麟伯厚甫 写本 大本 七、〇〇〇

〒612 京都市伏見区深草稲荷鳥居前町22

山崎書店

電話(〇七五)六四二一四七七四
郵便振替 京都 一八三六

- 1 宮崎友禪齋と近世の模様染(非売品) 昭28 一、〇〇〇
- 2 和装小甲の史実 高島興市郎 昭39 二、〇〇〇
- 3 増補装束申酉図解 上下和装 関根正直 大2 四、〇〇〇
- 4 宮殿調度図解(有動物)和装 関根正直 大4 二、〇〇〇
- 5 座敷構造部、実用規矩術(折本)有我清次郎 大5 三、〇〇〇
- 6 割付模様百題 古川甲丙 内田美術肆 昭3 一、〇〇〇
- 7 模範古美術類集 上下和装 中島信義 明28 八、〇〇〇
- 8 光悦風 色木版 折本 美術時好出版 明30 六、〇〇〇
- 9 光珠百圖 上下 文永堂大島屋 明30 一、〇〇〇
- 10 現今名家團扇集 完 芸艸堂 大3 四、〇〇〇
- 11 人物寄書式 全 本版彩色刷 芸艸堂 二、〇〇〇
- 12 故事禮服用着用圖 全 極美 芸艸堂 八、〇〇〇
- 13 故事近代女房装束抄 全極美 本版彩色刷 八、〇〇〇
- 14 一婦百態 完 渡邊華山 全榮堂藏版 題答欠 明17 三、〇〇〇
- 15 都名所二十五景 森川曾文画 本版彩色摺 題答付 明28 六、〇〇〇
- 16 都名所書譜 本版彩色摺 上下揃 題答付 極美 芸艸堂 四、〇〇〇
- 17 清瀨港龍堂画譜 草花虫部 全 本版彩色摺 題答付 美 芸艸堂 明36 五、〇〇〇
- 18 英字楷梯 完 題答付 好問堂藏 明4 一、〇〇〇



19 都名所二十五景 森川曾文画 本版彩色摺 題答付 昭28 一、〇〇〇

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一一一五九八

- 1 鉄 七版 岩藤 雪夫 昭5 四、〇〇〇
- 2 勞働者の誘拐 三版 江口 渙 大8 四、〇〇〇
- 3 放浪記 初版 林 芙美子 昭5 五、〇〇〇
- 4 夜明け前のさよなら 初版 中野 重治 昭5 五、〇〇〇
- 5 鉄の規律 初版 明石 鉄也 昭5 五、〇〇〇
- 6 闘い 初版 中本たか子 昭5 五、〇〇〇
- 7 正子とその職業 初版 岡田 禎子 昭5 二、〇〇〇
- 8 生活詩集 三版 林 芙美子 昭14 一、〇〇〇
- 9 歴史 初版函印 昭16 二、〇〇〇
- 10 日記 1画版2初版各函 昭17 四、〇〇〇
- 11 百子居叢書 第二編 西川百子編 昭4 三、〇〇〇
- 12 改版無産者 初版 西川 百子 大9 三、〇〇〇
- 13 黎明の光を床に 初版函 田中 英光 昭15 五、〇〇〇
- 14 オリノポスの果実 初版 昭23 三、〇〇〇
- 15 暗黒天使と悪魔 初版 額田 晋 昭18 二、〇〇〇
- 16 地下室から 初版 山口 貞雄 昭18 四、〇〇〇
- 17 自然科学発達史 初版 原 種行 昭25 三、〇〇〇
- 18 近世科学史 堀川 豊太郎 昭16 一、〇〇〇
- 19 近代科学の偉人 巻一 堀川 豊太郎 昭16 一、〇〇〇
- 20 自然科学創造の偉人 巻一 堀川 豊太郎 昭16 一、〇〇〇
- 21 日本発明者伝 見返補修 瀬戸口寅雄 昭17 三、〇〇〇
- 22 近代科学 1・2 二冊 佐藤 信衛 昭15 二、〇〇〇
- 23 日本の医学 大田 正雄 昭21 五、〇〇〇
- 24 科学随筆 医史叢談 富士川 游 昭17 二、〇〇〇
- 25 愛知県医事風土記 愛知医師会 昭46 四、〇〇〇
- 26 日本漢方医薬之変遷史 小泉栄次郎 昭9 六、〇〇〇
- 27 北陸館五十年を語る 同社 刊 昭15 三、〇〇〇
- 28 茶道ジャーナリズム六十年 同社 刊 昭43 一、〇〇〇
- 29 音楽の友社二十五年のあゆみ 同社 刊 昭41 四、〇〇〇
- 30 新潮社八十年圖書総目録 新潮社 昭51 五、〇〇〇
- 31 出版年鑑 76・78 出版ニュース社 各 二、〇〇〇
- 32 現代出版文化人総覧 18年度版 日本出版文化協会 二、〇〇〇

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一四
法律・経済・思想
竹岡書店
電話(〇七五) 七六一―四四五四
振替 京都 五一四二六一二

雑誌特集号 その三 各七〇〇円

- 1 願生思想の基礎(浄土論の研究) 金子大栄(仏教研究) 昭3
- 2 社会理想としての浄土 小野清一郎 他(仏教文化) 昭39
- 3 真説 崇徳院と木の丸藏 三木豊樹 昭7
- 4 高村光雲翁のお話 服部太元 他(仰高) 昭7
- 5 日本天台宗第一祖伝教大師最澄(承前)(仏教史林) 昭25
- 6 貝原益軒 足立栗園 他(史海) No.19 昭34
- 7 南越の文化財 石田茂作 他(奈衣衣部) No.10 昭9
- 8 南朝と淡輪及び小山氏 西田直一郎 他(日出芸林) 昭4
- 9 プロテスタントリズムに於ける教会の意義 釋 宗嶺 昭26
- 10 神道美術特輯 推古期美術の民族宗教的モチーフ 西田長男 他(神道史学) No.2 昭40
- 11 未刊松尾社家系図 羽倉敬尚 他(神道史研究) 昭11
- 12 太需要義我聞録 蜂谷啓太郎 昭52
- 13 浄興寺論考―近世初期を中心に― 大場厚順 他 昭15
- 14 女四書の研究 新井誠夫 他(東洋文化) No.17 昭15
- 15 鎌倉時代末字学弘布の諸彈伯 足利衍述 他(〇) 昭15
- 16 梁川星巖の晩年 石川諒一 他(〇) No.28・29 昭2
- 17 頼山陽と細香女史 佐藤 信 他(〇) No.30 昭2
- 18 湖山翁自解鎌倉十二律 佐伯仲藏 他(〇) No.43 昭4
- 19 頼山陽の高弟贈従五位村瀬藤城 伊藤 信 他(〇) 昭8
- 20 三絃本手の研究(承前) 若手飄子 他(〇) 昭13
- 21 勤王家明恵上人に就ての考察 山縣信敬 他 昭15
- 22 唐代に於ける交通制度の社会的意義 小関尚志 昭17
- 23 台湾原住民族の人類地理学的研究序説 鹿野雄雄 他 昭17
- 24 近世に於ける正名論発展の一方 村尾次郎 他 昭17
- 25 大和史蹟臨地講座要項 奈良県編纂 昭17
- 26 帝紀攷―田中重久(他)のくらし― 昭8
- 27 元朝秘史考 石浜純太郎 (龍谷史壇) 昭10
- 28 幕末における郷土―中農層の積極的意義 奈良本辰也 昭22
- 29 東大寺古文書の地理的一考察 村治圓次郎 他 昭9

- 30 能登の祭祀芸能の研究 小倉 学 他(能登文化財) 昭43
- 31 米澤藩の漆栽培 長岡 實 他(山形史学研究) 昭31
- 32 法隆寺国寶保存事業に就いて 同部(史蹟名勝 天然記念物) 141-7 昭14
- 33 欽廉正業について 石田幹之助 他(史泉) No.15 昭34
- 34 西王女伝説の一考察 浜上隆一 他(歴史と地理) 昭13
- 35 羅馬に於ける家長権の変遷 戸倉 廣 他(〇) 昭14
- 36 江戸時代法制に表れた幕政の一管見 山本義夫(〇) 昭14
- 37 遣唐使廢絶後に於ける日唐の交通 木宮泰彦 他 昭14
- 38 豊臣秀吉の戸口調査 相田二郎 他(〇) 46・6 昭14
- 39 再び豊臣秀吉の戸口調査に就いて 相田二郎 他 昭14
- 40 中世の兵士及び兵士米について 相田二郎(〇) 昭14
- 41 浪速の地名につきて思ひよれる事でも 若橋小弥太 昭14
- 42 元弘三年の鎌倉討入り 大森金五郎 他(〇) 昭14
- 43 肉食妻帯宗の研究 喜田貞吉 他(〇) 昭14
- 44 平安朝人七の體質とその変化 桜井 秀 他(〇) 昭14
- 45 石器時代に於ける日本の林相に就いて 直良信夫 他 昭14
- 46 鎌倉時代風俗研究の一方面 柴田 實 他(〇) 昭14
- 47 古寺院の僧坊及び雑倉 竹島 寛 他(〇) 昭14
- 48 徳川時代尾州平野の生産業と其の変遷 尾原彦彦 他 昭12
- 49 所謂堀立柱根と土居桁式建築 喜田貞吉 他(〇) 昭13
- 50 谷川学の立場 佐々木 望 他(史学雑誌) 54・11 昭18
- 51 倭人の人名官名からみた邪馬台国(専修大学) 昭53
- 52 山形県東村山郡山寺村上荒谷縄文前期遺跡 川崎利夫 昭31
- 53 河内国若江郡葦村文書目録 伊藤 保 他(史泉) 昭35
- 54 中江藤樹と今後の教育 井上哲次郎 他(近江教育) 昭8
- 55 児童と自画問題 松本光亮 他(〇) No.298 昭9
- 56 尋常小学国史の研究 佛性誠太郎 他(〇) No.307 昭9
- 57 哲学の社会化 矢吹慶輝 他(哲学雑誌) No.397 昭9
- 58 価値と実在 吉田静致 他(〇) No.398 399 昭9
- 59 ハイムのルーテル論 佐藤繁彦 他(〇) No.399 昭9
- 60 ウェルヘルム・ヴァンデルバンド 三並 良(〇) 昭9
- 61 法華経に就て 松本文三郎 他(〇) No.412 昭10
- 62 ソクラテスの思索 出 隆 他(思索) No.3 昭22
- 63 今日の政治的関心 田中美知太郎 他(〇) No.8 昭21
- 64 ギリシヤ自然哲学の本質 坂崎 侃 他(講座) 昭9
- 65 愛の哲学―恋愛論 石丸梧平 他(人生創造) 昭9
- 66 ルター歿後四百年記念論文集 石原 謙 他 昭21
- 67 道德教育 滝沢克己(現代思潮) No.4 昭33

- 68 占領下のドイツ フェイゼルス(社会) 2-19 昭22
- 69 階級と民族 小泉信三 他(世界) No.17 昭22
- 70 日本史的世界と世界史的日本 服部之總(〇) No.23 昭22
- 71 英国の労働党と知識階級 木村健郎 他(〇) No.24 昭22
- 72 社会科学教育の展望 磯野誠一 他(教育) No.18 昭28
- 73 社会科学改訂における「時代区分」の問題 家永三郎 昭30
- 74 へき地学校の実態報告(教育研究) No.29 昭38
- 75 パレット社会学の選良循環説 新明正道 他(セルパン) 昭8
- 76 暴力について 戒能通孝 他(展望) No.45 昭24
- 77 コンフオルムと日本共産党 金子武藏(〇) No.51 昭25
- 78 ロンボオ論(百枚) 平井啓之 他(〇) No.65 昭26
- 79 社会革新の思想 小松堅太郎 他(理想) No.78 昭12
- 80 現下の思想情勢 長谷川如是閑(〇) No.82 昭13
- 81 現代科学を考ふる 沢田充茂(理想) No.496 昭37
- 82 明治新政府に対する抵抗の思想 荻津彦彦 他 昭37
- 83 明治思想史における右翼と左翼の源流 荻津彦彦 昭38
- 84 草葉戦後史 財戦二十年記念号 西田廣義 他 昭40
- 85 部落解放文学賞(部落解放) No.82 昭51
- 86 トロッキ―暗殺者の仮面と心理 荻野 審(論争) 昭37
- 87 原著論と個体的所有 柚岡正順 他(情況) No.78 昭50
- 88 学校の死滅―「教育論」を越えるもの(〇) No.98 昭51
- 89 信貴山縁起絵の絵巻としての構造 源 豊宗 他 昭43
- 90 音楽美とは 張 源祥 他(人文論究) 昭41
- 91 ティヌ研究号 神部 孝 他(生活) 1-11 昭11
- 92 国内改革の諸問題上 上(国家学会雑誌) No.631・632 昭14
- 93 国際法上の判状状態 立作太郎(〇) No.601 昭12
- 94 レッテル商品の特殊形態 木村喜一郎 他 昭16
- 95 シスミンデの租税論 岡本博之(他)大阪商大 昭27
- 96 経済学教科書と財政学(経済評論) No.10 昭27
- 97 日本産業の再編成と方向(〇) No.18 昭38
- 98 教科書検定問題について 国立国会図書館 昭29
- 99 西ドイツの選挙法 昭29
- 100 懐風藻の詩と六朝詩との関係 田村謙治 他 昭25
- 101 芥川文芸初期の世界 吉村 穠 他 昭48
- 102 現代詩劇に関する一考察 山川瑞明 他 昭31
- 103 イェイツの「最終詩集」について 大浦幸男 他 昭31
- 104 想像力の志向性について―コルリジとサルトル― 昭42
- 105 ホーソン「緋文字」研究特集 岩山太次郎 他 昭36
- 106 生命の発生 (科学園) 三一四 昭21

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5
 社会科学系
 外山書店
 電話(〇七五)七〇一六六一七

- 1 日本人の社会意識 福武直編 昭35 五、五〇〇
- 2 ブラジル移民実態調査報告(京大総合経済研究所) 昭30 三、〇〇〇
- 3 実査十八年ブラジル人国記 野田良治 昭30 七、五〇〇
- 4 日本都市生活の源流 村山修一 昭28 九、〇〇〇
- 5 紐育市内外の地所 岡本米藏 昭45 一、〇〇〇
- 6 東洋自由新聞(復刻版) 西田長寿編 昭39 五、八〇〇
- 7 明治新聞論 篠田鉞造 昭22 四、〇〇〇
- 8 正義を求めぬ心 大杉栄論集 大10 二、〇〇〇
- 9 近藤栄蔵文庫目録 四、五〇〇
- 10 同大人文研キリスト教社会問題研究会 昭44 四、五〇〇
- 11 ハミルトン・ケースワークの理論と実際 上・下 仲村優一 昭39 六、五〇〇
- 12 福祉国家の建設 北岡寿逸 昭39 五、〇〇〇
- 13 社会保険の発達 小島砂人 昭18 五、八〇〇
- 14 ベニオン・西洋医療器具文化史 児玉博英訳 昭57 二、〇〇〇
- 15 労災補償行政史 労働省 昭36 八、〇〇〇
- 16 労災補償の基本問題 村上茂利 昭36 五、八〇〇
- 17 昭和23年個人別賃金調査結果報告(労働省) 大8 七、五〇〇
- 18 ヴァーリル・欧米最低賃銀法 農商務省商工局 大8 一、〇〇〇
- 19 家計調査報告全4冊 自大15年9月至昭2年8月 昭4 八、〇〇〇
- 20 第1巻記述の部
- 21 第3・4巻給料生活者労働者の部 上・下
- 22 第4巻農業者の部
- 19 マフィー・英国総業業の政治的意義 和田健二訳 昭2 七、五〇〇
- 20 明治警察史 高橋雄豹 昭38 九、〇〇〇
- 21 戯曲集自由史異変 坂垣守正 大15 四、〇〇〇
- 22 京都府会史 全4冊 同会
- 23 大正時代総説資料・昭和時代総説資料 昭41 九、五〇〇
- 24 保全処分の体系上下吉川大二郎選歴記念 昭38 七、五〇〇
- 25 瀧川幸辰 昭4 四、五〇〇
- 26 堀江掃一全集 全10冊 改造社 昭4 三、〇〇〇
- 27 フェルナー・寡占少数者の競争―越後和典他訳 昭46 七、〇〇〇
- 28 シートン・ソビエトの経済発展と政策 小泉進他訳 昭34 五、〇〇〇

- 28 頼山陽の社会経済思想 徳田進 昭46 五、〇〇〇
- 29 近世の商品流通 八木哲浩 昭37 三、五〇〇
- 30 日本地方財政制度の成立 藤田武夫 昭18 六、〇〇〇
- 31 トインビー・英国産業革命史 塚谷他訳 昭28 三、八〇〇
- 32 技術及び労働力の理論 上林貞治郎 昭22 四、五〇〇
- 33 日本繊維産業経営史 藤井光男 昭46 四、〇〇〇
- 34 日本紡績業史序説 上下 高村直樹 昭46 四、五〇〇
- 35 和漢語文獻類聚(復刻版) 石橋四郎編 昭51 七、五〇〇
- 36 東京災害史 畑市次郎 昭27 六、五〇〇
- 37 キム・飛行機の構造要素 河島謙三他訳 昭19 三、八〇〇
- 38 航空の驚異 中正夫 昭17 二、五〇〇
- 39 伊藤家伝 松坂屋 昭32 五、〇〇〇
- 40 ラテチンスキー・聯業の社会化 那須皓訳 昭25 六、〇〇〇
- 41 近世初期農政史研究 中村吉治 昭13 四、五〇〇
- 42 小作権 花島得二 昭16 四、八〇〇
- 43 百姓一揆史談 黒正蔵 昭4 三、五〇〇
- 44 四国地方の農業 第1・2巻(2冊) 経企庁総合開発局 昭36 五、〇〇〇
- 45 山城谷村史 徳島県三好郡山城町 昭35 九、〇〇〇
- 46 日本古代稲作史研究 安藤広太郎 昭34 九、〇〇〇
- 47 食糧生産の経済的研究 岩井磯雄 昭17 三、〇〇〇
- 48 米穀貯蔵の研究 河野常盛 昭17 一、〇〇〇
- 49 水稻の直播栽培に関する研究 吉岡金市 昭22 四、五〇〇
- 50 米の増産 川田・渡辺 昭38 一、〇〇〇
- 51 生鮮食品の市場構造 作道洋太郎他 昭42 九、〇〇〇
- 52 ボッター消費組合発達史論 久留間訳 大10 八、〇〇〇
- 53 日本歴史講座 全8巻 河出書房 昭29 四、五〇〇
- 54 上代政治社会の研究 林陸朗 昭53 四、三〇〇
- 55 日本封建制成立の諸前提 安田元久編 昭36 九、八〇〇
- 56 日本初期封建制の基礎研究 安田元久 昭51 七、〇〇〇
- 57 京劾庄园村落の研究 上島有 昭56 五、〇〇〇
- 58 日本古代財政史の研究 蘭田香融 昭56 五、〇〇〇
- 59 律令・荘園体制と農民の研究 畑井弘 昭56 六、〇〇〇
- 60 リンシュタンベルジュ・近代ドイツ・その発展 昭16 八、〇〇〇
- 61 北支の農村経済社会 柏祐賢 昭19 九、〇〇〇
- 62 法律家のみた中国 青年法律家訪中団 昭40 一、〇〇〇
- 63 劉少奇著作集 全2冊 同刊行会訳 昭27 六、五〇〇
- 64 ハルトマン存在論の基礎附 高橋敬視訳 昭17 六、〇〇〇
- 65 コトバの哲学 山元一郎 昭44 九、〇〇〇

- 66 民科哲学講座 弁証法 三一書房 昭25 五、〇〇〇
- 67 無神論と反宗教運動 浅野研真 昭7 二、五〇〇
- 68 京一中洛北高校百年史 同高 昭47 九、〇〇〇
- 69 教育社会学原論 安藤堯雄 昭25 四、五〇〇
- 70 日本教育原論 福島政雄 昭17 三、〇〇〇
- 71 教育原理 海後宗臣 昭27 二、八〇〇
- 72 現代思潮と教育 大 五、〇〇〇
- 73 明治前期学校成立史 本山幸彦編 昭40 四、〇〇〇
- 74 学制成立史の研究 尾形祐康 昭48 六、〇〇〇
- 75 近代ヨーロッパの教育と政治長尾十三三 昭46 四、八〇〇
- 76 社会科教育の本質 東教大社会科教育研究会 昭47 九、〇〇〇
- 77 国語科教授の実際 富山房編輯部編 四、〇〇〇
- 78 帝国読本提要巻1・5・10・7冊在昭12・14
- 79 国語教育原論 瀬戸口・鈴木 昭3 四、〇〇〇
- 80 歌の唄ひ方 村山博編 昭10 二、五〇〇
- 81 作曲理論対立法 位 瀬戸口・鈴木 昭3 四、〇〇〇
- 82 新編教育唱歌集 瀬戸口・鈴木 昭3 四、〇〇〇
- 83 セシル・グレイ・現代音楽概観 大田黒元雄訳 昭5 四、〇〇〇
- 84 ヴァイオリン・ピアノ・オーガンの解説 大10 三、五〇〇
- 85 名曲の事典 属啓成 昭29 二、〇〇〇
- 86 ロマン・ロラン・ペルトオヘン 高田博厚訳 大4 一、〇〇〇
- 87 プロウワ・ピアノの弾き方 塚部龍太郎訳 大14 四、五〇〇
- 88 音楽年鑑 一九三七年 音楽世界社 四、〇〇〇
- 89 楽譜なしに誰にも解る音楽理論の常識 門馬直衛 大13 三、〇〇〇
- 90 家庭音楽講話 田辺尚雄 大11 三、〇〇〇
- 91 西洋音楽の知識 小松耕輔 大12 三、〇〇〇
- 92 日本音楽講話 田辺尚雄 大8 四、〇〇〇
- 93 室内楽全書 服部龍太郎 昭30 一、〇〇〇
- 94 日本映画盛衰記 玉木潤一郎 昭13 三、〇〇〇
- 95 私映画論 大日本映画協会 昭18 三、〇〇〇
- 96 近代俳優論争 武智鉄一 昭33 一、〇〇〇
- 97 随筆寄席風俗 千田也 昭34 一、〇〇〇
- 98 随筆寄席風俗 正岡容 昭18 三、〇〇〇
- 99 低学年算術新教法案 鈴木筆太郎 昭2 五、八〇〇
- 100 勤労教育の理論と方法 大倉邦彦 昭13 六、〇〇〇
- 101 宗教的行としての集団動行 鈴木筆太郎 昭2 五、八〇〇
- 102 幼児より成年まで家庭教育の実際 野瀬寛顕 昭6 七、〇〇〇
- 103 小学校に於ける公民教育 浅野辰太郎 昭7 六、八〇〇
- 104 ニール叢書 5冊在 霜田静志訳 昭26 二、〇〇〇

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一九八八
振替 京都 三三三二六

赤尾照文堂古書通信(全集・叢書・国語・国文・近代文学)
昭和58年6月号発行。右記宛までお申し込み下さい。

- 1 英語教育叢書 全6冊 研究社昭10 二四〇〇〇
- 2 日本の英学一〇〇年全4冊 研究社昭43 二五〇〇〇
- 3 世界文学辞典 研究社昭16 三〇〇〇〇
- 4 英米文学辞典 斎藤 勇 研究社昭29 三〇〇〇〇
- 5 英米文学風物誌 中川芳太郎 研究社昭25 一〇〇〇〇〇
- 6 北欧の海賊と英国文明 金子健一 研究社昭2 二〇〇〇〇
- 7 英国の風物 篠田錦策 研究社昭26 二〇〇〇〇
- 8 英文学風土記 石田憲次 研究社昭47 一五〇〇〇
- 9 ユーロピア研究 T・モア 伊達 功昭40 一八〇〇〇
- 10 ユーロッパ自由主義の発達 ラスキ石上良平 研究社昭26 四四〇〇〇
- 11 政治ざらいの政治論 リード 増野・山内昭28 四四〇〇〇
- 12 ルネッサンスの文学と思想 増野・山内昭28 四四〇〇〇
- 13 近代神秘思想 グリーアスン 遠藤貞吉 昭52 五〇〇〇〇
- 14 宗教と近代国家 ドウソン 深瀬基寛昭21 一五〇〇〇
- 15 基督教の文学観 石田憲次 研究社昭7 一五〇〇〇
- 16 讃美歌研究 斎藤 勇 研究社昭47 四〇〇〇〇
- 17 現代英国文芸印象記三島新三郎 三省堂昭4 四〇〇〇〇
- 18 印象と研究 鳴沢寡彦 中外出版大14 四四〇〇〇
- 19 英米文学印象記 日高只一 新潮社大13 三〇〇〇〇
- 20 英文学印象記 平田亮木 アルス大13 三〇〇〇〇
- 21 英文学の感覚 土居光知 岩波書店昭10 六五〇〇〇
- 22 英文学の諸相 荒川龍産 弘文堂昭40 三三〇〇〇
- 23 現代英文学の課題 深瀬基寛 研究社昭14 一〇〇〇〇
- 24 英文学のよごこび 石田憲次 研究社昭45 六〇〇〇〇
- 25 英文学詳解 スキントン 岡村愛蔵明44 四四〇〇〇
- 26 英文学論攷 スキントン 岡村愛蔵明44 四四〇〇〇
- 27 英文学に於ける浪漫主義 竹友藻風 萬里閣昭5 五〇〇〇〇
- 28 現代英文学評論 西脇順三郎 厚生堂昭6 六八〇〇〇
- 29 現代英文学の課題 深瀬基寛 宮西光雄昭39 三〇〇〇〇
- 30 現代英文学の展開 深瀬基寛 教養文庫昭14 一〇〇〇〇〇
- 31 現代英文学の展開 デイシンス 上田・平野昭35 一、五〇〇〇〇

- 32 英米文学の背景 日高只一 四條書房昭8 三〇〇〇〇
- 33 十九世紀英文学 島田謹二 研究社昭26 二四〇〇〇
- 34 二十世紀の英文学 中橋一夫 研究社昭31 三九〇〇〇
- 35 近代文学と恋愛 モーデル 奥 俊貞大13 八五〇〇〇
- 36 女性と英文学 大山敬子 篠崎書林昭44 二〇〇〇〇
- 37 英国小説と女流作家 近藤いね子 研究社昭22 四四〇〇〇
- 38 文学論 工藤好美 朝日新聞社昭22 四四〇〇〇
- 39 イギリス文学試験集 平井正穂 研究社昭40 四四〇〇〇
- 40 現代イギリスの文学思想 矢本貞幹 研究社昭31 三〇〇〇〇
- 41 不凋花―英文学研究と省察 森安幸夫昭33 三三〇〇〇
- 42 イギリス文学―案内と文獻 御興員三昭43 二五〇〇〇
- 43 現代イギリス批評の先駆 龍本貞幹 研究社昭30 二五〇〇〇
- 44 文学と伝統 荒川龍彦 弘文堂昭17 二八〇〇〇
- 45 最近イギリス文学論 成田成寿 研究社昭23 三〇〇〇〇
- 46 現代イギリス文学入門 中橋一夫 研究社昭31 二四〇〇〇
- 47 現代イギリス・アメリカ文学 成田成寿昭46 三〇〇〇〇
- 48 英国文学史 3冊 テニス 平岡 昇昭24 八五〇〇〇
- 49 欧羅巴文学を併せ見たる英文学史 中川芳太郎 研究社昭26 一五〇〇〇
- 50 十九世紀英文学 島田謹二 研究社昭26 一五〇〇〇
- 51 イギリス文学史 ロゲン 巽 豊彦昭41 四四〇〇〇
- 52 イギリス文学史 斎藤 勇 研究社昭42 三三〇〇〇
- 53 英国小説史 佐治秀寿 研究社昭2 四〇〇〇〇
- 54 イギリス小説論 近藤いね子 研究社昭27 四〇〇〇〇
- 55 イギリスの社会小説 カザミヤン 石田昭33 二〇〇〇〇
- 56 十九世紀の小説 海老池俊治 研究社昭31 四四〇〇〇
- 57 英国小説研究 第6冊 篠崎書林昭40 三〇〇〇〇
- 58 英国小説研究 第7冊 島田謹二 篠崎書林昭41 二八〇〇〇
- 59 近代比較文学 山本修二 光文社昭31 二〇〇〇〇
- 60 日本英文学の学統 矢野峰人 研究社昭36 三〇〇〇〇
- 61 英米現代劇の動向 小宮豊隆 創元社昭22 八〇〇〇〇
- 62 悲劇と喜劇 小宮豊隆 福村書店昭7 三三〇〇〇
- 63 シンク戯曲全集 松村みね子 新潮社大12 八〇〇〇〇
- 64 愛蘭戯曲集 第一巻 松村みね子 玄文社大11 八五〇〇〇
- 65 愛蘭戯曲集 第二巻 松村みね子 玄文社大11 八五〇〇〇
- 66 英詩文叢攷 尾島庄太郎 大観堂昭10 一八〇〇〇
- 67 ことばと詩 楽園喪失論 英詩考 御興員三昭45 三三〇〇〇
- 68 英国詩文選 斎藤 勇 研究社昭30 一三〇〇〇
- 69 イギリス詩文選 斎藤 勇 研究社昭47 二五〇〇〇
- 70 形而上詩の伝統 佐山栄太郎 研究社昭29 五〇〇〇〇

- 71 ヴィクトリア朝詩歌論 矢野未積 研究社昭29 四四〇〇〇
- 72 ヴィクトリア朝の詩 矢野未積 研究社昭46 五〇〇〇〇
- 73 現代英詩の背景 アイザックス 深瀬基寛昭31 六〇〇〇〇
- 74 近代英詩法 繁野政瑞 研究社昭10 四四〇〇〇
- 75 近代英詩の表現 佐々木達 研究社昭46 四八〇〇〇
- 76 詩のための詩 ブラッドリ 曾根保昭7 二五〇〇〇
- 77 CHAUCER'S CANTEBERURY TALES THE PROLOGUE 市河一喜昭9 二五〇〇〇
- 78 カンタベリー物語序歌 チョーサー 互理 昭9 三六〇〇〇
- 79 シェイクスピア入門 富原芳彰 研究社昭40 二五〇〇〇
- 80 シェイクスピア研究 横山有策 泰文堂昭6 三〇〇〇〇
- 81 シェイクスピア概観 斎藤 勇 新月社昭21 三八〇〇〇
- 82 シェイクスピア序論 中西信太郎 研究社昭14 三五〇〇〇
- 83 シェイクスピア試評史研究 中西信太郎 研究社昭37 六八〇〇〇
- 84 シェイクスピア試論 富原芳彰 研究社昭37 二九〇〇〇
- 85 道化の宿命 シェイクスピアの文芸 中橋一夫 研究社昭34 六〇〇〇〇
- 86 シェイクスピアへの接近 福原麟太郎昭45 三三〇〇〇
- 87 シェイクスピア ロレー 竹内公基昭18 七〇〇〇〇
- 88 シェイクスピアとその周辺 菅 泰男昭28 六八〇〇〇
- 89 シェイクスピアの劇場と舞台 柏倉俊三昭38 三〇〇〇〇
- 90 沙翁舞台とその変遷 上田整次 岩波書店大14 六〇〇〇〇
- 91 ハムレットとドンキホーテ 岩波書店大14 六〇〇〇〇
- 92 漱石のオセロ 野上豊一郎 鉄塔書院昭5 九〇〇〇〇
- 93 ミルトン研究 越智文雄 同大出版部昭43 八〇〇〇〇
- 94 ミルトンとその時代 平井正穂 研究社昭49 一六〇〇〇
- 95 プレイク論稿 山宮 允 三省堂昭4 一三〇〇〇
- 96 プレイク研究 梅津清美 垂水書房昭38 八〇〇〇〇
- 97 ワーズワスの詩の変遷 金田真澄 北星堂昭49 二五〇〇〇
- 98 ワーズワス「序曲」の研究 栗山 稔 風間昭56 九八〇〇〇
- 99 キーツの芸術 佐藤 清 研究社大13 四〇〇〇〇
- 100 ラスキン研究 御木本隆三 厚生堂昭13 七五〇〇〇
- 101 ウォルター・ペイターの研究 植木鍊之助大15 六八〇〇〇
- 102 宗教詩人としてのブラウニング 畔上賢造大13 五八〇〇〇
- 103 サウル ブラウニング 蘭川四郎大15 三八〇〇〇
- 104 ハーデー文学の研究 大沢 衛 研究社昭33 四八〇〇〇
- 105 ハーデー小説の鑑賞 瀧山季乃 篠崎書林昭34 二〇〇〇〇
- 106 ジョイスの文学 ゴルマン 永松 定昭7 七八〇〇〇
- 107 日本におけるHジェイムズ書誌 沖田 一昭40 四四〇〇〇
- 108 アクセルの城 ウィルソン 石田憲次昭47 四四〇〇〇
- 109 アメリカのネオ・ヒューマニズム 石田憲次昭33 五八〇〇〇

石川古本店

電話(〇七五)七一一五四二九
振替 京都 七三三〇八九

- 1 吸血魔団(イタミ) 手塚治虫 初版 東光堂 昭23 五、〇〇〇
2 爆弾平原 菅谷春雄 八千代書院 昭26 五、〇〇〇
3 覆面の三銃士 あらきゆずる、京菱出版 昭23 三、〇〇〇
4 魔海の少年船長 橋本将介 関西図書 昭24 三、五〇〇
5 カモシカ少年 須磨寅一 三春書房 昭23 三、〇〇〇
6 謎の大平原 キタダタカシ(イタミ) 昭23 三、〇〇〇
7 アラダンと魔法のらんぷ 平ひかる 多田書房 昭23 八、〇〇〇
8 堀部安兵衛 はとりまり子 昭24 二、五〇〇
9 あばれ荒武者 著者不明 紅葉出版 昭24 三、〇〇〇
10 忍術道中 柏木昇一 白水社 昭25 四、五〇〇
11 魔窟の傀儡 城青兒 日本出版 昭24 一、〇〇〇
12 夜霧の怪人 天田まさき、成象堂 昭24 三、五〇〇
13 怪人幽霊騎士 高橋十三路 公文社 昭23 八、五〇〇
14 快傑黄金面 佳彦次郎 関西図書 昭23 四、五〇〇
15 コブラ団全滅 梶塚千里 芙蓉出版 昭22 二、〇〇〇
16 股旅裸丸坊 西田左門 大和書房 昭22 三、〇〇〇
17 黄金の小槌 千葉映吉 昭文社 昭21 二、五〇〇
18 弥次喜多百万両競争 秋山三平 奥付欠 昭24 二、〇〇〇
19 怪カデブ丸 入江正介、二冊揃 三春書房 昭24 八、〇〇〇
20 孤島のドク丸団、山内秀二、二冊揃 娛樂社 昭23 〇、〇〇〇
21 6本指殺人蜂の家) 久呂田正三、三冊 昭23 〇、〇〇〇
22 宇宙の秘密 中正夫 中央書房 昭23 五、〇〇〇
23 ポケットマンガ、拳銃少年 2冊 昭23 四、〇〇〇
24 小四フロック 蚊とんぼ七ちゃん朗らか日記 昭12 二、五〇〇
25 冒険活劇文庫(少年画報フロック) 8月号 昭25 四、〇〇〇
26 活劇映画ブック(冒険王3月号フロック) 昭27 三、〇〇〇
27 日本野球花形選手写真帳(少年フロック) 昭24 三、〇〇〇
28 探偵雑誌ぶろふいる 昭21 一、〇〇〇
29 ガモラ 様図かずお A5版 昭21 五、〇〇〇
30 復讐鬼人 様図かずお 講談社 昭45 二、〇〇〇
31 太陽の季節プレスシート(新人、裕次郎) 二、五〇〇
32 手討プレスシート 市川雷蔵 スチール3枚付 四、五〇〇
33 幌馬車プレスシート スチール 1枚付 三、〇〇〇

〒502 京都市上京区烏丸通今出川上ル

沢田書店

電話(〇七五)四五一〇五二三
振替 京都 三一九一四八

- 1 尚美資料 第一編一十冊 十冊揃布製三方金 三、五、〇〇〇
2 尚美集 映人二冊 京都美術倶楽部編 昭4 六、〇〇〇
3 波光・竹喬・紫峰 二八展画集 複製 芸亭堂 昭16 一、〇〇〇
4 宝雲 第一九卷 同刊行所 昭7 一、八〇〇
5 吉田先生追憶盆裁水石記念帖 映人 益裁協会 昭43 二、五〇〇
6 培英社盆裁入門 野崎信夫 南村 実業日本社 昭14 一、五〇〇
7 改訂古陶磁の科学 内藤匡 南村 二玄社 昭37 四、五〇〇
8 茶袋抄 統一輯 加藤義一郎 函付日本美術工芸社 昭30 三、〇〇〇
9 増補やきもの読本 小野賢一郎 宝雲社 昭18 二、〇〇〇
10 陶磁器精華 わくわく宮川愛太郎 共立出版 昭40 二、〇〇〇
11 陶磁器 著者不明 本城まで宮川愛太郎 共立出版 昭39 一、五〇〇
12 日本結髪全史 江馬務 函付 立命館出版部 昭11 九、〇〇〇
13 山川美子全集 坂本政規編 上下四冊揃 光彩社 昭47 八、三〇〇
14 大札記念 電気大観 洪田市郎編 映人 昭4 二、五〇〇
15 近畿の太陽 読光テレビ10年史 映人 昭4 一、八〇〇
16 改訂邦文日本外史 新編池田義象 函付 二陽書院 昭9 一、〇〇〇
17 大東亜戦争写真史 全三巻函付 富士書苑 昭29 六、〇〇〇
18 あ、皇軍後の日 陸軍大將田中静彦 塚本清非売品 昭32 二、五〇〇
19 あ、白陵の春の宵 姫路高校史 函付 世界評論社 昭43 二、四〇〇
20 動物の思考 矢田茂郎 盈科舎 昭20 三、五〇〇
21 随筆集動物学教室 田中茂穂 水産社 昭16 二、〇〇〇
22 牧野富太郎伝 上村登 函付 六水社 昭30 二、〇〇〇
23 六甲山の植物 山島吉五郎 カバ付 新民書房 昭19 二、〇〇〇
24 若き哲学者の手記 弘津正一 カバ付 山口書店 昭17 一、〇〇〇
25 戯曲信約の勲勳 三部作ロマンチック新編訳付冬夏社 大11 一、六〇〇
26 宮沢賢治友への手紙 保阪十次郎初巻付 築摩書房 昭43 二、五〇〇
27 愛と認識との出発 倉田百三 函付 岩波書店 昭15 二、〇〇〇
28 おはん 木村莊八画宇野千代 初函付中央公論社 昭32 二、五〇〇
29 高原 再版 川端康成 甲鳥書店 昭17 一、五〇〇
30 化粧 初版カバ付 大岡昇平 新沙社 昭29 一、五〇〇
31 聞書抄 初版 谷崎潤一郎 全国書房 昭21 一、五〇〇
32 随筆集人生観想 長興善郎 初函 小山書店 昭14 一、〇〇〇
33 ふる里 正宗得三郎 人文書院 昭18 一、〇〇〇

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入

井上書店

電話(〇七五)七八一一三三三
振替 京都 七一二四九七

- 1 岩源氏物語湖月抄上中下3冊 弘文社 昭4 一、八〇〇
2 日本文学史の構想 風巻景次郎 昭17 一、〇〇〇
3 美の傳統 岡崎義忠 弘文堂 昭17 二、〇〇〇
4 日本文学評論史 形態論篇 久松潜一 昭25 二、〇〇〇
5 日本文学評論史 古代中世篇 久松潜一 昭16 二、〇〇〇
6 改訂日本文学史 佐々木信綱 昭17 三、〇〇〇
7 東洋史観 鳥山喜一 昭16 一、〇〇〇
8 日本神代史 中村徳五郎 昭9 二、〇〇〇
9 蘇峰自傳 徳富猪一郎 昭10 二、〇〇〇
10 ニイチェ ヴァラントストラ 立澤剛 昭15 二、〇〇〇
11 ヨーロッパ文学 西脇順三郎 背イタミ 昭8 一、八〇〇
12 徳田秋聲の文学 野口富士男 筑摩書房 昭54 三、〇〇〇
13 日本文学史 6冊揃 久松潜一編 至文堂 昭39 一、七〇〇
14 本居宣長 初版 小林秀雄 昭52 三、〇〇〇
15 道元の言語宇宙 寺田透 岩波書店 昭50 一、八〇〇
16 明治維新史研究講座 7冊揃 歴史学研究会 昭43 六、五〇〇
17 西洋拷問刑罰史 大場正史 雄山閣 昭43 一、四〇〇
18 日本上代史の研究 津田左右吉岩波書店 昭51 二、四〇〇
19 現代日本文学論争史 3冊揃 未来社 昭44 五、〇〇〇
20 谷崎潤一郎全集 新書版 揃30冊 箱付 昭34 三、〇〇〇
21 芸術的世界の論理 京都大学文学部研究會編 昭47 三、〇〇〇
22 毎日年鑑 昭和十二年 昭12 一、五〇〇
23 朝日年鑑 昭和十三年 昭13 二、五〇〇
24 日本労働年報 昭和7年度 学芸社 昭10 二、〇〇〇
25 日滿経済統制と農業移民 日本労働組合 昭10 八、〇〇〇
26 北滿鉄路譲渡交渉関係発表集 外務省情報部 昭9 四、〇〇〇
27 国鉄職員行政整理関係記録 松山事件対策協議会 昭44 七、〇〇〇
28 松山事件行政記録 松山事件対策協議会 昭44 二、〇〇〇
29 日本共産党の第八回大会をめぐる諸問題 野村胡堂 昭36 三、〇〇〇
30 朝鮮問題研究 朝鮮民主主義人民共和国建国20周年記念号 篠崎平治 昭30 一、五〇〇
31 在日朝鮮人運動 警察庁警備課 篠崎平治 昭30 一、〇〇〇
32 菟原村史 非売 昭32 二、〇〇〇
33 開基文庫 八段加藤信 12冊揃 昭27 一、〇〇〇

江月宗玩

墨蹟之寫 禪林墨蹟の研究 上巻

竹内尚次著

本書は博多崇福寺に秘藏された、大徳寺一五六世江月宗玩禪師の、慶長十六年より寛永二十年にいたる禪林美術(墨蹟および着替絵)の貴重な鑑定日録である。上段に江月禪師自筆本の写真版を、下段に釈文と註釈を付す。上巻には慶長十六年より元和九年までを収録する。禪林美術・仏教美術研究史上に輝く大著!!

A4判/豪華特装本/本文二〇〇頁 定価三四〇〇〇円

訂 増 寰宇貞石圖 河井荃蘆監修 藤原楚水編纂

中国上古から漢魏六朝・唐代、および日本・朝鮮の著名石刻碑碣を加えた整本四七〇余種、六〇〇余図を集大成。すべてを縮印し碑形を明らかにすることを主眼にした大著。清人楊守敬三六〇余拓からなる同名の書の遺漏を補い、更に近年出土のもの百余を加えて面目一新、最も完備せるものと称されている。原本は昭和十四年刊、今回新たに詳細な解説を付す。書学・書道史研究者必携の名著。

B3変型判/豪華愛蔵版 定価六五〇〇〇円

竹田名蹟圖誌

外狩桑心庵纂編/田能村竹田の名作の数数を収録。詳細な解説、題詩語の釈文、論文集を付す。全2巻揃価98800円

渡邊崋山 錦心圖譜

編集代表 鈴木栄之亮/昭和15年開催の没後百年記念大展覽会出陳作の全てを特写し編纂したもの。定価85000円

酒井抱一畫集

抱一上人眞蹟鏡二册 A3判・四方挿入 付巻I和綴巻挿入 定価198000円

国書刊行会 千七百 東京都豊島区巣鴨三二五―八(03)917-8287 小社の書籍は注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。

訓 禪林句集

柴山全慶老師輯 定価1,500円送料250円

仏教書取り揃えております 葉書にて御照会下さい。

其中堂 振替京都538 TEL.231-2971 千604 京都市中京区寺町通三条北

思わぬ出費!

その様な時、御利用下さい。

- ・出町店・京都市上京区河原町今出川上る ☎231-7711番
- ・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣 ☎462-3371番

ZENSHOD 本専門の質屋 善書堂

☆御用済の書籍については

京都古書研究会加盟店へ御相談下さい☆

京都府・同教育委員会編

京都府史蹟名勝天然紀念物調査報告

全22冊 付録目次・総索引

本書は大正六年、京都府の委嘱を受けて、主として京都大学が市内及び府下に散在する重要な遺蹟・遺物等の実地踏査と資料の蒐集を行い、昭和36年までに22冊を刊行したものを、初めて復刻再刊するもの。山城盆地から丹後半島にいたる主要な遺蹟をことごとく網羅しており、さらに日本考古学の研究方法として今日の規範を示された点、その成果は高く評価されている。しかし、今日市場に出ることは極めて稀であり、研究者・郷土史家待望の書である。初版の誤植を正し、別冊として「総目次・総索引」を新訂増補する。

- | | | | | | |
|------|--------------|--------|------|-----------------|--------|
| 第一冊 | 神明山古墳 他 | 六、五〇〇円 | 第三冊 | 清和院ノ桂林寺 他 | 六、八〇〇円 |
| 第二冊 | 美濃山ノ古墳 他 | 三、〇〇〇円 | 第四冊 | 神明山古墳出土品 他 | 八、五〇〇円 |
| 第三冊 | 大枝村妙見山古墳 他 | 八、三〇〇円 | 第五冊 | 栗柄野瓦窯址調査 | 七、九〇〇円 |
| 第四冊 | 寺戸ノ大塚古墳 他 | 八、六〇〇円 | 第六冊 | 北白川小倉町 | |
| 第五冊 | 男山法王寺ノ古墳 他 | 八、六〇〇円 | 第七冊 | 石器時代遺蹟調査 他 | 三、〇〇〇円 |
| 第六冊 | 加悦町大師山ノ箱式棺 他 | 六、〇〇〇円 | 第八冊 | 南原古墳の調査 他 | 六、八〇〇円 |
| 第七冊 | 黒部ノ鏡子山古墳 他 | 一、〇〇〇円 | 第九冊 | 保津村保津山古墳 他 | 六、五〇〇円 |
| 第八冊 | 鳥取村平安初期墳墓 他 | 六、四〇〇円 | 第十冊 | 北白川産土山古墳 他 | 六、〇〇〇円 |
| 第九冊 | 塚本村及塚本古墳 他 | 七、八〇〇円 | 第十一冊 | 竹野村産土山古墳 他 | 八、〇〇〇円 |
| 第十冊 | 美濃山ノ横穴 他 | 七、八〇〇円 | 第十二冊 | 同上(下) 他 | 八、五〇〇円 |
| 第十一冊 | 鳥ヶ嶽の古墳 他 | 八、〇〇〇円 | 第十三冊 | 加悦丸山古墳 他 | 六、五〇〇円 |
| 第十二冊 | 寺戸の車塚古墳 他 | 六、八〇〇円 | 第十四冊 | 総目次・総索引 時代別索引 他 | 三、〇〇〇円 |

■体裁/B5判背つぎクロス装・ケース入・本文(中性特濃紙使用三六頁)
 ■索引三五頁・図版(コロタイプ三枚・原色六枚・其他三枚)
 ■定価/全巻セット特価 一九〇、〇〇〇円 分売予約7月30日迄 九八、〇〇〇円
 ■配本/第一回(一、二冊) 配本中 九二、〇〇〇円
 第二回(三、二二冊及索引) 58年9月10日 九二、〇〇〇円

好評発売中!



臨川書店 本社 京都市左京区今出川通川端東入50M ☎075-781-6166
 東京支店 千代田区飯田橋四七一六曙ビル ☎03-263-4320

国文学

能勢朝次著作集

全十巻

能勢朝次著作集編集委員会編 中世文学、能楽とその大成者世阿弥について最も基礎的な考え方を掘え、連歌・俳諧、芭蕉に関して先駆的な研究をなした著者の論考を、全十巻の著作集として刊行。

近世和歌研究

第七回配本3
 七月中旬刊
 ▼A5判・四九〇頁/定価六、四〇〇円
 *全巻予約特価六、一〇〇円

- | | | |
|----|---------|-------|
| 1 | 国文学研究 | (第十回) |
| 2 | 中世文学研究 | (既刊) |
| 3 | 近世和歌研究 | (第七回) |
| 4 | 能楽研究(一) | (既刊) |
| 5 | 能楽研究(二) | (既刊) |
| 6 | 能楽研究(三) | (既刊) |
| 7 | 連歌俳諧研究 | (既刊) |
| 8 | 連歌俳諧研究 | (既刊) |
| 9 | 俳諧研究(一) | (第九回) |
| 10 | 俳諧研究(二) | (既刊) |

陽明叢書

記録文書篇

全十冊 別冊一

監修 近衛通隆/編集顧問 熱田公・益田宗/編集(財陽明文庫)
 「御堂関白記」を筆頭とする各歴代関白記ほか、各時代ごとの種々の記録・文書を一般研究者の需に応じ上梓。

巻	収録内容	容
第一輯	御堂関白記(一〜五)	全五冊
第二輯	岡屋関白記・深心院関白記・後知足院関白記	全三冊
第三輯	後法成寺関白記(一〜三)	全三冊
第四輯	愚昧記・永昌記・大府記ほか	全四冊
第五輯	人車記(一〜四)	全四冊
第六輯	平記・範輔記	
第七輯	法制史料集	
第八輯	名家消息集	
第九輯	紙背文書集(一〜三)	全三冊
第十輯	所領関係文書集	
別輯	宮城	

近世私塾の研究

海原徹著 近世教育の中で私塾の発達過程に照らし、その動態と人的交流をさまざまに分析し、特色・位置づけ、その果たした役割と意義を探り、近代への胎動を追求した気鋭の一書である。

序章/能力主義教育の先駆/市井の学/国学を担う人びと/海外新知識の移入・摂取/幕末期の政治と私塾/尊攘派の教育的背景/長州藩激派の政治的実践

▼A5版・六二〇頁/定価二二、〇〇〇円

本社 京都市左京区田中関田町2-7 ☎(075)751-1871
 〒606

思文閣出版

支社 東京都千代田区三崎町2-20 ☎101
 (03)263-6348